

宇土市
男女共同参画社会の実現に向けた
市民意識調査
結果報告書

【中学生向け調査】

令和7年12月

宇土市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の実施要領・回答数	3
3. 調査結果利用上の注意	3
第2章 調査結果の概要	5
1. あなた自身のことについて	7
2. 家での生活について	7
3. 学校での生活について	7
4. 将来について	8
5. デートDVについて	9
6. 男女共同参画社会について	9
第3章 調査結果	11
1. あなた自身のことについて	13
2. 家での生活について	14
3. 学校での生活について	22
4. 将来について	25
5. デートDVについて	33
6. 男女共同参画社会について	40

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和9年度を開始年度とする「第4次宇土市男女共同参画推進計画」策定に向け、中学3年生の皆様の日常生活における男女共同参画のご意見を集計・分析し、計画策定並びに今後の取り組みに向けた計画の基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査の実施要領・回答数

調査時期	令和7年9月～10月上旬
調査対象者	宇土市立3つの中学校の3年生すべて
調査方法	郵送による配布・回収及びインターネット回収
配布数	360件
有効回収数	284件 (学校回収：247件) (WEB:37件)
有効回答率	78.9%

3. 調査結果利用上の注意

- ・各設問のnは、回答者数を表しています。
- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100%を超える場合があります。
- ・回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
- ・数表・図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。

第2章 調査結果の概要

1. あなた自身のことについて

回答者の性別

男性」47.9%、「女性」51.4%で、女性の割合がやや高くなっています。

家族構成

「親と同居」が96.8%と最も高く、「兄弟姉妹」79.6%、「祖父母（曾祖父母含む）」22.5%となっています。「祖父母（曾祖父母含む）」との同居は2割程度にとどまっており、前回調査時と比較して、さらに核家族化が進行していることが示されています。

2. 家での生活について

家の中での行動について

『している』は「食後の片づけ」「自分の部屋のそうじ」「家の中のそうじ」が上位となっており、自分の身の回りに関わる家事は比較的取り組まれていることがうかがえます。一方、『していない』は「食事をつくる」「ゴミ出し」「洗濯」が上位となっており、家族全員のための家事は実施率が低くなっています。性別で見ると、女性は男性と比べて「食事をつくる」「家の中のそうじ」「洗濯」を『している』割合が1割程度高く、日常的な家事は女性が担う場面が多いことが示されています。

「女だから」「男だから」と言われた経験について

『言われたい』が約8割となっています。前回調査と比べると、『言われる』は低く、『言われたい』は高く、それぞれ10ポイント以上差が生じていることから、性別に基づく偏った発言が減少し、意識の改善が進んでいることがうかがえます。性別で見ると、女性は男性と比べて『言われる』割合が1割程度高く、女性の方がより多くの場面で性別による言動を受けていることが示されています。

言われた内容については、「服装・身だしなみ」が最も高く、次いで「言葉づかい」「座り方」となっており、外見や態度など日常的な振る舞いに関する指摘が多いことがうかがえます。性別で見ると、男性は「家でのお手伝い」「泣いたとき」「言葉づかい」「スポーツ」が上位であり、女性は「服装、身だしなみ」「座り方」「言葉づかい」が上位となっており、男性は役割や行動、活動面での指摘を受けやすく、女性は外見や態度、生活習慣に関する指摘を受けやすい傾向があり、日常生活における性別役割意識が依然として存在していることが示されています。

3. 学校での生活について

学校生活における各取り組みへの男女の適性について

すべての項目で「どちらでもよいと思う」が8割以上となり、学校生活における活動は男女の区別なく行えるという認識が定着していることがうかがえます。ただし、「調理実習で中心的に振る舞う」では「女子の方が向いている」が1割程度高く、一部の活動では依然として性別による役割意識が残っていることが示されています。性別で見ると、女性は男性と比べて「どちらでもよいと思う」がすべての項目で高く、女性の方が活動の適性の違いを意識せず、男女平等の観点から判断していることがうかがえます。

4. 将来について

将来なりたいと思う職業の有無について

「ある」52.8%、「現在（今）は、まだない」46.8%となっています。性別でみると、女性は男性と比べて「ある」が高く、女性の方が将来像を具体的に描いていることがうかがえます。

将来なりたい職業について

「その他」「医療福祉関係」「公務員」が上位となっており、幅広い分野に関心が分かれていることが示されています。性別でみると、男性は「その他」が最も高く、次いで「スポーツ選手」「公務員」、女性は「医療福祉関係」「その他」が同率で最も高く、次いで「美容師」となっていることから、男女で職業志向に明確な違いがあることがうかがえます。

将来なりたい仕事を実現する際の性別の影響については、全体及び性別でみても『影響しない』が7割を超えており、性別が職業選択に及ぼす影響は限定的であることが示されています。

結婚観について

『結婚する方がよい』、「どちらでもよい」がいずれも4割で同程度となっています。前回調査と比べると、『結婚する方がよい』は23.2ポイント低く、「どちらでもよい」は17.0ポイント高くなっており、結婚に対する価値観が多様化していることがうかがえます。性別でみると、男性は女性と比べて『結婚する方がよい』が20ポイント以上高く、男性の方が結婚に対する肯定的意識を持つ傾向が強いことがわかります。

女性が職業を持つことについて

「子どもができたら仕事をやめ育児に専念し、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が44.0%と最も高く、次いで「子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい」33.1%となっています。子育ての時期に合わせて働き方を変える考え方が最も支持される一方で、子どもができて継続して働き続けるという意識も3割を超えており、女性の就労に対する価値観が多様化していることが示されています。性別でみると、女性は男性と比べて「子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい」が16.1ポイント高く、女性の方が出産後も継続して働きたいと考える傾向が強いことがうかがえます。

子どもの育て方について

「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる」については、『そう思わない』が50.0%で『そう思う』の35.2%を上回っており、性別にとらわれない育て方を支持する考えが多数派となっていることが示されています。性別でみると、男性は女性と比べて『そう思う』が20ポイント以上高く、男性の方が性別役割に基づく育て方を支持する傾向が強いことがわかります。一方、「性別に関わらず経済的に自立できるように育てる」「男の子も女の子も炊事、洗濯、掃除などの仕方を身につけさせる」「男の子らしく、女の子らしくではなく、個性に合った育て方をする」については、全体及び性別でみても『そう思う』がいずれも8割を超えており、子育てにおいては性別にとらわれず、経済的自立や生活能力の習得、個性を尊重する育て方が広く支持されていることがわかります。

子育てにおける男女の役割について

は、「育児は男性も女性も同じように行った方がよい」が7割を超えており、育児を男女で分担すべきだとする考え方が広く支持されていることが示されています。性別で見ると、女性は男性と比べて「育児は男性も女性も同じように行った方がよい」が11.7ポイント高く、女性の方が男女平等に育児を分担すべきだと考える傾向が強いことがわかります。

5. デートDVについて

「デートDV」という言葉の認知状況について

『知っている』が約7割となっており、前回調査と比べると、『知っている』が4割以上高くなっていることから、デートDVに関する認知が大きく進展していることが示されています。性別で見ると、女性は男性と比べて『知っている』が2割程度高くなっていることから、女性の方が男性よりもデートDVに関する認知度が高く、理解が進んでいることがわかります。

交際相手との間で起こる行為のうち「デートDV」にあたる行為について

『「デートDV」にあたる』は「殴る、蹴るなどの暴力をふるう」「デートに必要なお金を無理に払わせる」「大声でどなる」が上位となっており、いずれも9割を超えていることから、身体的暴力だけでなく、経済的な強要や言葉による威圧も「デートDV」として広く認識されていることが示されています。一方、『「デートDV」ではない』は、「メッセージや電話の返信をすぐにしないと怒る」が最も高く2割を超えており、暴力や経済的強要に比べて、コミュニケーション上の行為はDVとして捉えられにくいことがうかがえます。性別で見ると、「大声でどなる」について、女性は男性と比べて『「デートDV」にあたる』が1割程度高くなっており、女性の方が言葉による威圧をより深刻に捉えていることがわかります。

「デートDV」に関する相談窓口の認知状況について

全体及び男女ともに「宇城警察署」が4割を超えている一方、「知らない」も4割を超えており、相談窓口の周知が十分とは言えない状況です。性別で見ると、女性は男性と比べて「宇土市こども家庭センター」が1割程度高くなっていることから、男女で情報格差も見られます。今後は相談窓口に関するさらなる情報発信と誰もが安心して相談できる体制づくりが求められます。

6. 男女共同参画社会について

見聞きしたことがある男女共同参画に関する法制度等について

「ストーカー行為」「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」「ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）」「ドメスティック・バイオレンス」が上位であり、7割を超えています。一方、「宇土市男女共同参画推進条例」「宇土市男女共同参画推進計画」「女性活躍推進法」「アンコンシャス・バイアス」は1割未満となっていることから、社会的に問題視されやすい暴力やハラスメント関連は認知度が高いものの、制度的な枠組みや新しい概念については認知度が低く、さらなる情報発信や啓発活動の強化が求められます。性別で見ると、女性は男性と比べて「マタニティ・ハラスメント」「ジェンダー」が高く、女性の方が妊娠・出産に関わる課題や社会的性別の問題に対して、より強く認識していることが示されています。

社会における男女の平等感について

「家庭生活」「学校」「地域社会」「法律や制度の上」では「平等である」が最も高く、「政治の中」「慣習やしきたり等」「仕事の場」では「わからない」が最も高くなっていることから、家庭や学校、地域社会といった身近な生活領域や法律や制度の上では一定の平等感が認識されている一方、政治や慣習、仕事の場といった社会的領域では平等感が十分に認識されていないことが示されています。また、「政治の中」「慣習やしきたり等」「仕事の場」では『男性の方が優遇されている』が『女性の方が優遇されている』より約1割～4割高く、依然として社会的領域において男性優位の認識が強く残っていることがうかがえます。性別でみると、「政治の中」「法律や制度の上」「仕事の場」について、男性は女性と比べて、「平等である」が高く、「わからない」が低く、約1割～2割の差が生じていることから、社会的領域や法律・制度の一部において男女間で平等感の認識の違いが存在していることが示されています。

性別による役割固定の考え方について

『同感しない』が7割を超えており、多くの生徒が性別による役割固定に対して否定的な意識を持っていることがうかがえます。また、性別でみると、女性は男性と比べて『同感しない』が17.9ポイント高く、女性の方が性別による役割固定に対してより強い否定的意識を持っていることが示されています。

男女が性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会が実現されているか

『(実現されていると)思う』が『思わない』より10.2ポイント高く、肯定的に捉える人が多数派であることがうかがえます。また、性別でみると、女性は男性と比べて「わからない」が12.0ポイント高く、女性の方が社会の実現状況について判断を保留する傾向が強いことが示されています。

男女が社会のあらゆる分野でより平等になるために重要だと思うものについて

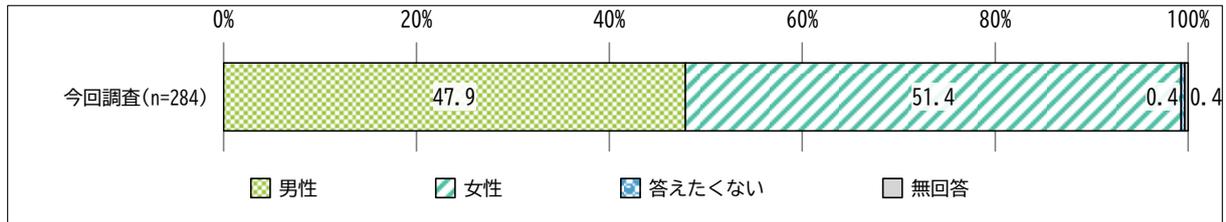
「男性も女性も、パートナーとして理解し、協力すること」「男女を差別している古い慣習やしきたりをなくすこと」「仕事や賃金の面で男女差をなくすこと」が上位となっており、男女平等の実現には、個人の意識や行動の改善に加え、慣習や職場における制度の見直しも重要であることが示されています。前回調査と比べると、「男性も女性も、パートナーとして理解し、協力すること」「家事が大変な労働であることを認めること」「法律や制度を見直して、より良くすること」が、いずれも10ポイント以上高く、個人の意識改革だけでなく、家庭や制度に関する意識改善の必要性がより強く認識されていることがうかがえます。性別でみると、女性は男性と比べて「男女平等の視点から、家庭や学校での教育を見直すこと」が10.8ポイント高く、女性の方が家庭や学校での教育のあり方を見直すことの重要性をより強く意識していることが示されています。

第3章 調査結果

1. あなた自身のことについて

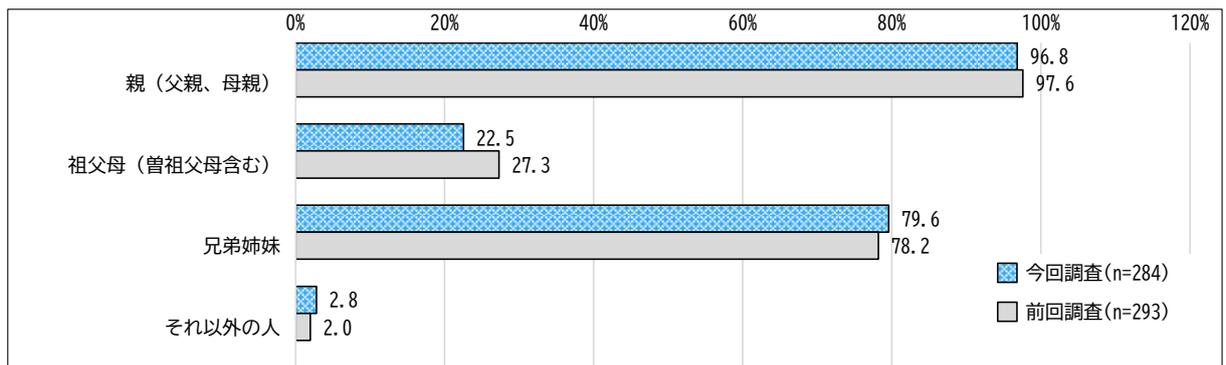
F1 あなたの性別を教えてください。(単数回答)

○性別では「男性」が47.9%、「女性」が51.4%、「答えたくない」が0.4%となっています。

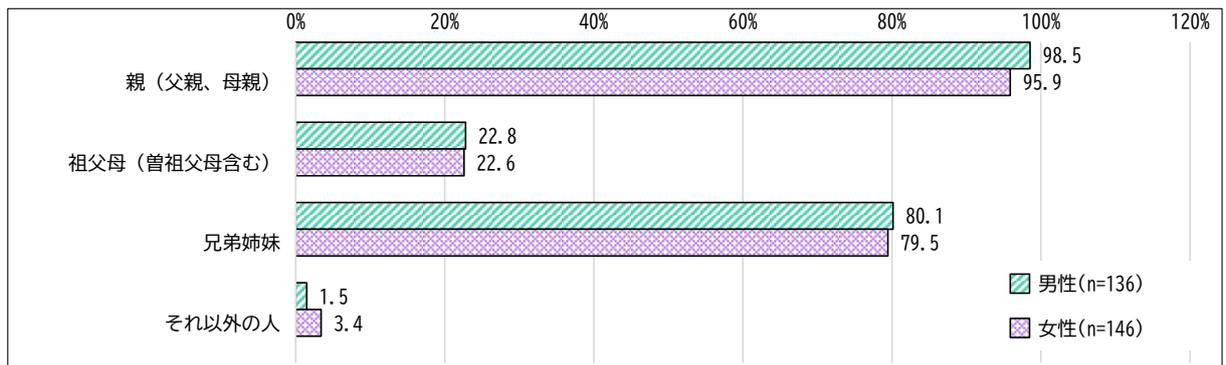


F2 あなたは家で誰と一緒に住んでいますか。(複数回答)

○同居している人については、「親（父親、母親）」が96.8%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」79.6%、「祖父母（曾祖父母含む）」22.5%となっています。



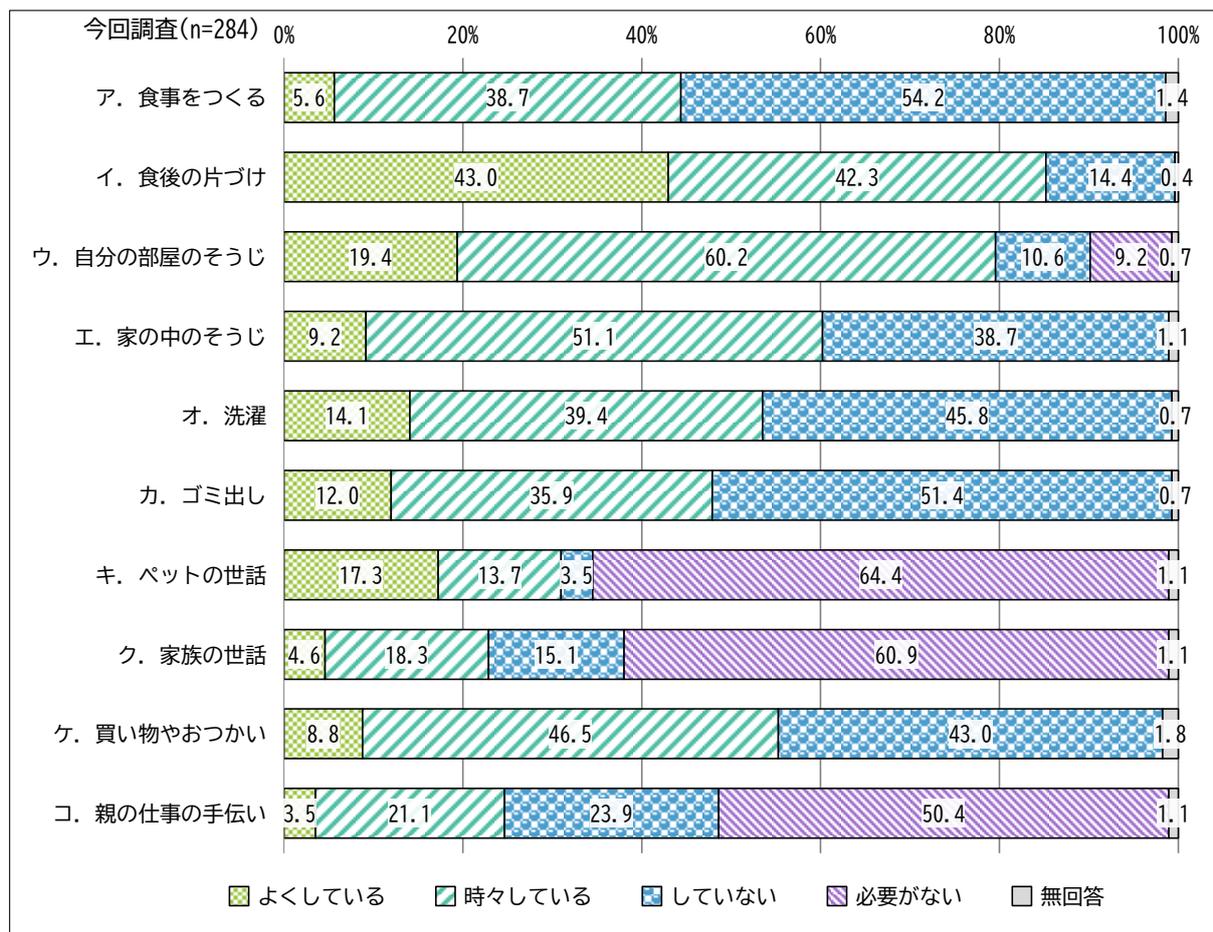
【性別】



2. 家での生活について

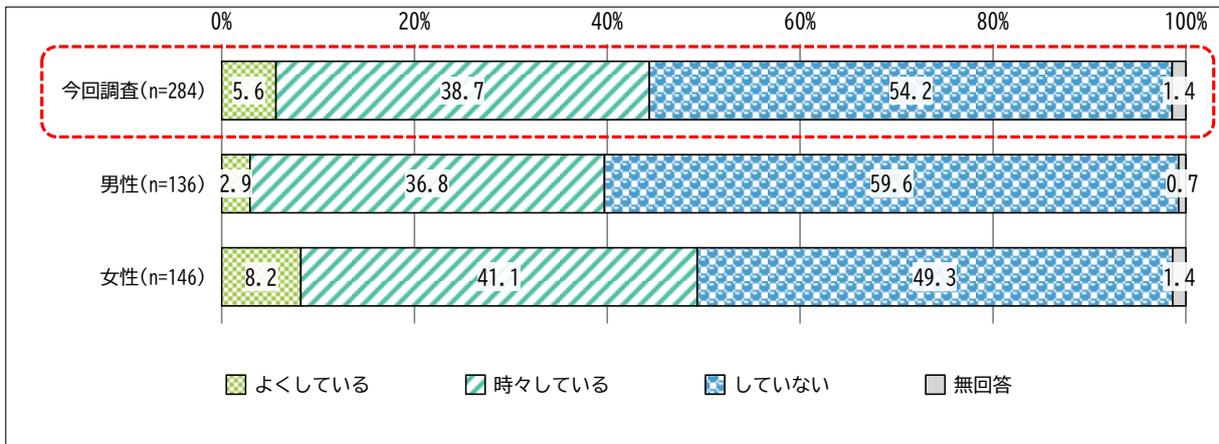
問1 あなたは、家の中で、次のことをどれくらいしていますか。(単数回答)

○家の中での行動について、『している：よくしている+時々している』は、「食後の片づけ」が85.3%と最も高く、次いで「自分の部屋のそうじ」79.6%、「家の中のそうじ」60.3%となっています。一方「していない」は、「食事をつくる」が54.2%と最も高く、次いで「ゴミ出し」51.4%、「洗濯」45.8%となっています。



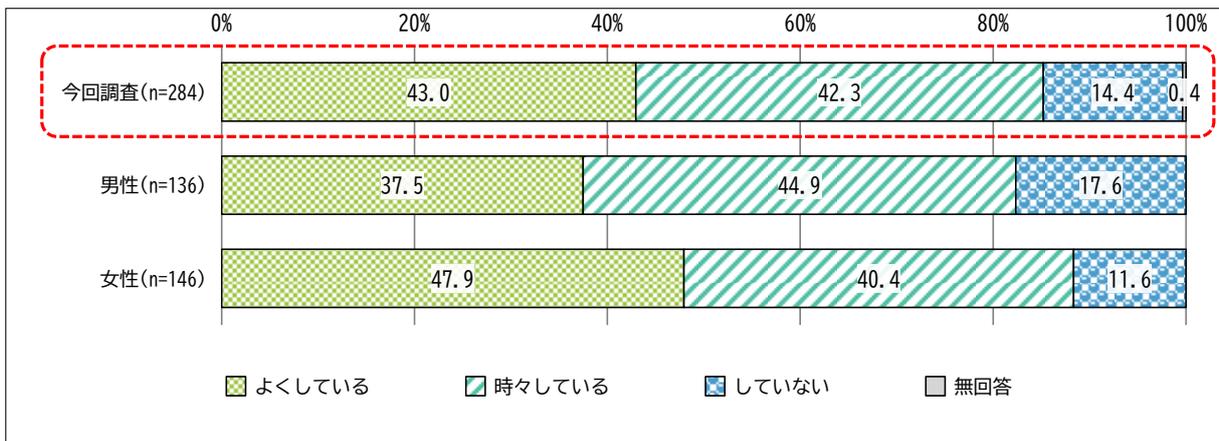
(ア) 食事をつくる

- 「食事をつくる」については、「していない」が54.2%と最も高く、次いで「時々している」38.7%、「よくしている」5.6%となっています。
- 性別で見ると、女性は男性と比べて『している』が高く、「していない」が低くなっており、1割前後差が生じています。



(イ) 食後の片づけ

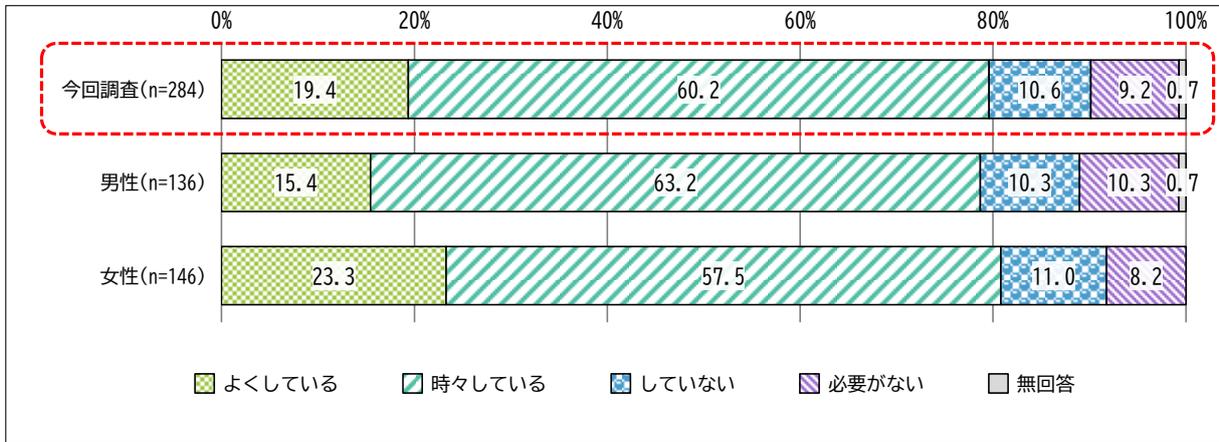
- 「食後の片づけ」については、「よくしている」が43.0%と最も高く、次いで「時々している」42.3%、「していない」14.4%となっています。
- 性別で見ると、女性は男性と比べて「よくしている」が10.4ポイント高くなっています。



(ウ) 自分の部屋のそうじ

○「自分の部屋のそうじ」については、「時々している」が60.2%と最も高く、次いで「よくしている」19.4%、「していない」10.6%となっています。

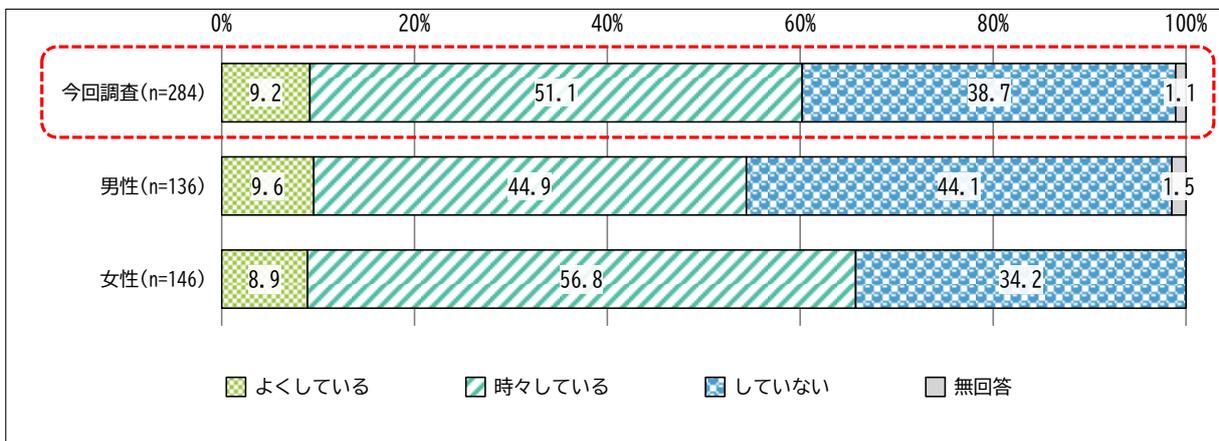
○性別でみると、男女ともに『している』が8割程度となっています。



(エ) 家の中のそうじ

○「家の中のそうじ」については、「時々している」が51.1%と最も高く、次いで「していない」38.7%、「よくしている」9.2%となっています。

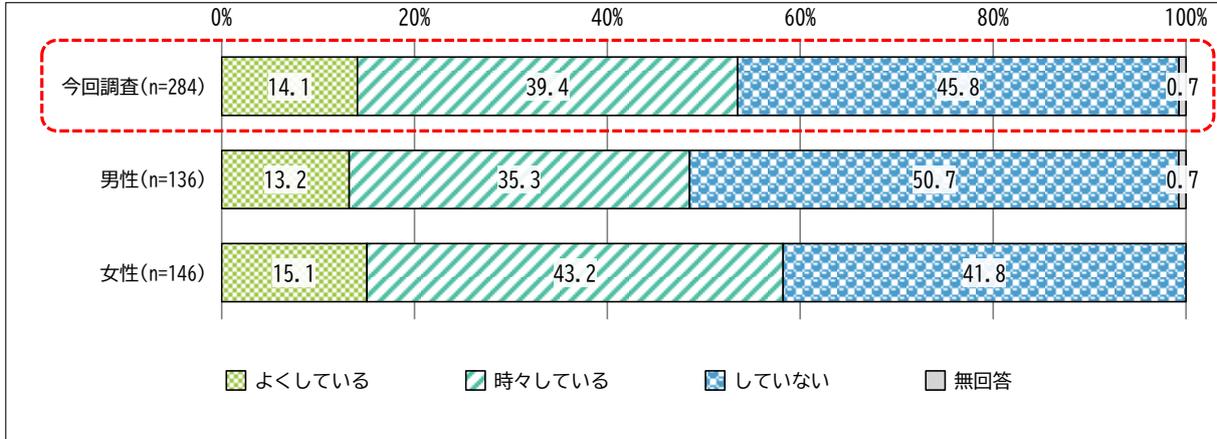
○性別でみると、女性は男性と比べて「時々している」が高く、「していない」が低くなっており、1割前後差が生じています。



(オ) 洗濯

○「洗濯」については、「していない」が45.8%と最も高く、次いで「時々している」39.4%、「よくしている」14.1%となっています。

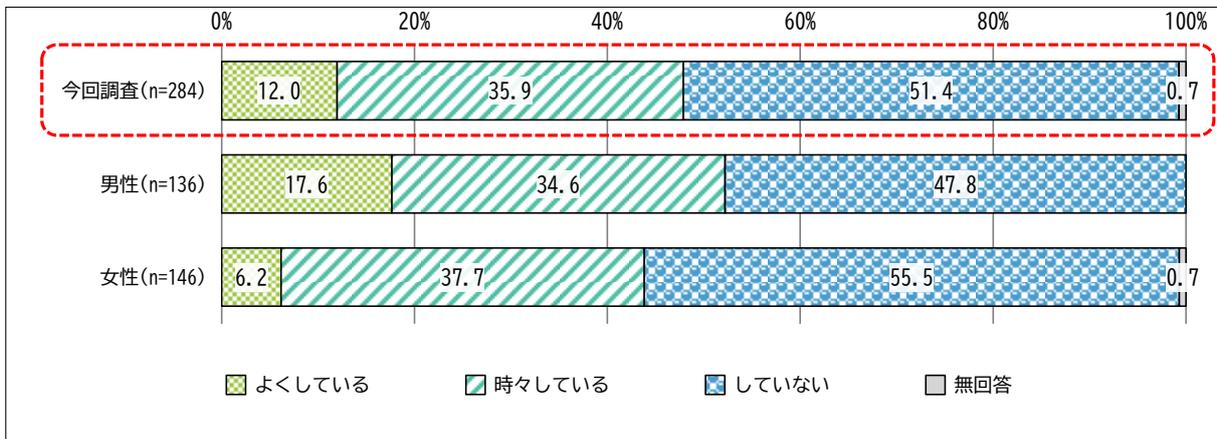
○性別で見ると、女性は男性と比べて『している』が1割程度高くなっています。



(カ) ゴミ出し

○「ゴミ出し」については、「していない」が51.4%と最も高く、次いで「時々している」35.9%、「よくしている」12.0%となっています。

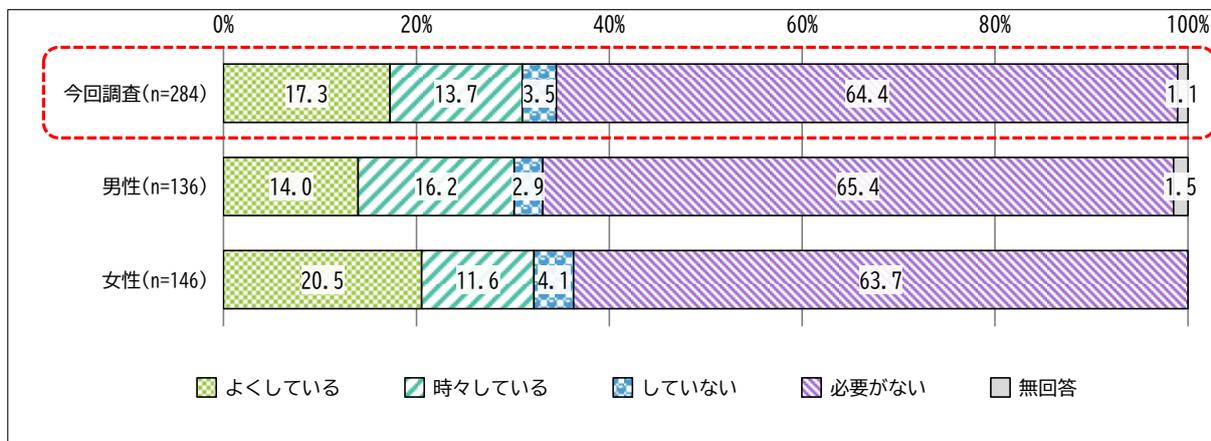
○性別で見ると、男性は女性と比べて「よくしている」が11.4ポイント高くなっています。



(キ) ペットの世話

○「ペットの世話」については、「必要がない」が64.4%と最も高く、次いで「よくしている」17.3%、「時々している」13.7%となっています。

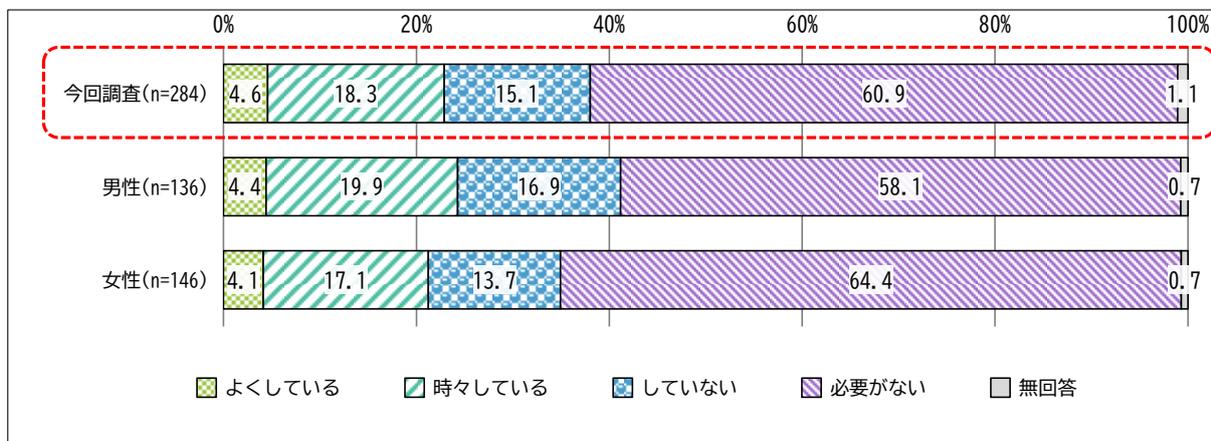
○性別で見ると、男女ともに「必要がない」が最も高く、6割を超えています。



(ク) 家族の世話

○「家族の世話」については、「必要がない」が60.9%と最も高く、次いで「時々している」18.3%、「していない」15.1%となっています。

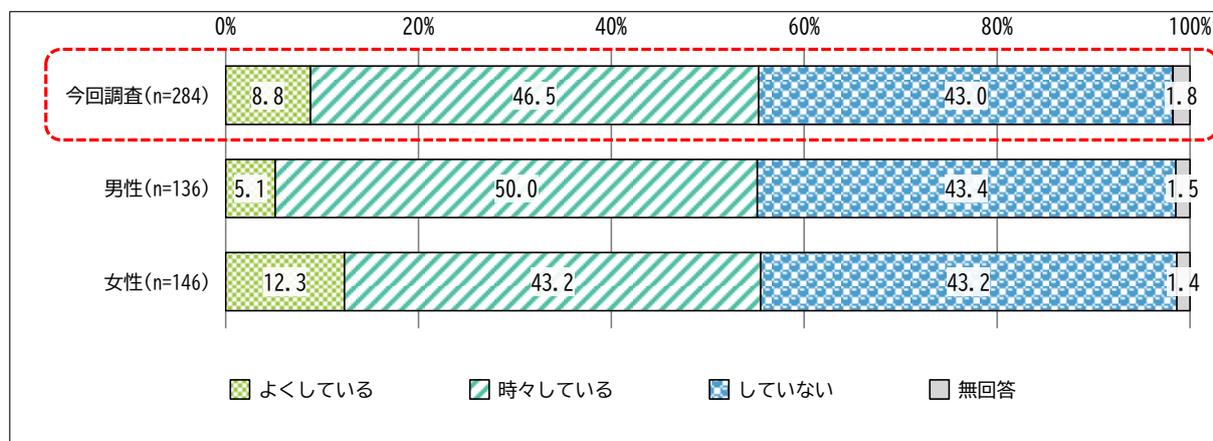
○性別で見ると、男女ともに「必要がない」が最も高く、6割前後となっています。



(ケ) 買い物やおつかい

○「買い物やおつかい」については、「時々している」が46.5%と最も高く、次いで「していない」43.0%、「よくしている」8.8%となっています。

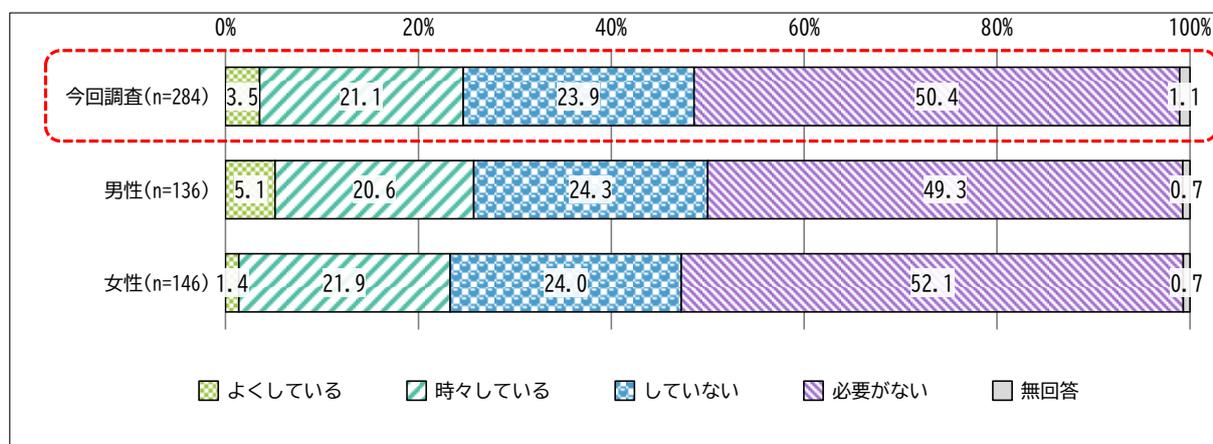
○性別で見ると、男女で『している』『していない』は、ほぼ同程度となっています。



(コ) 親の仕事の手伝い

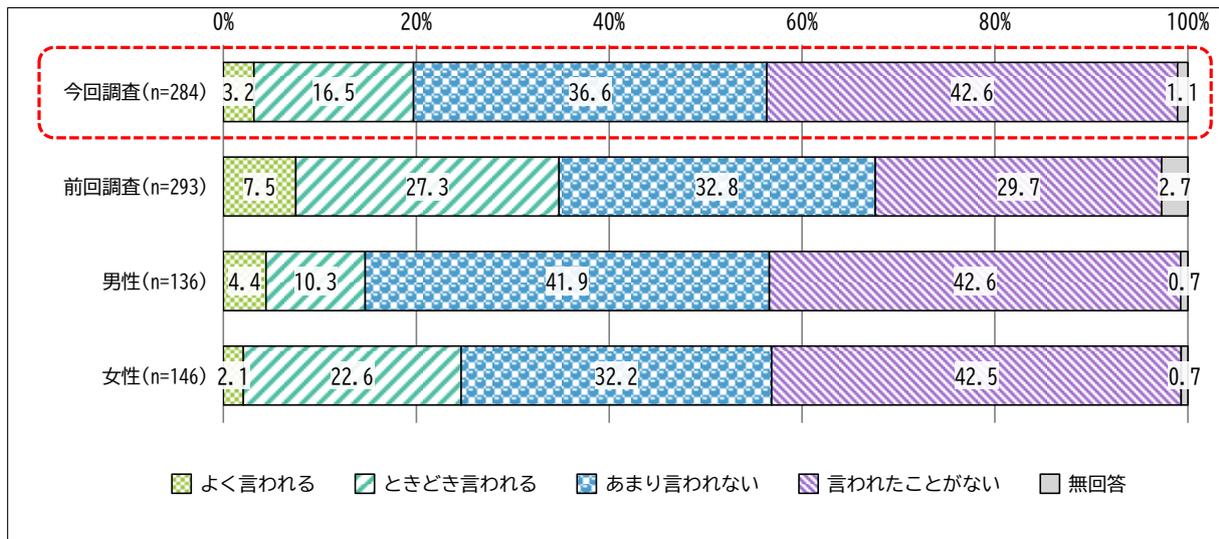
○「親の仕事の手伝い」については、「必要がない」が50.4%と最も高く、次いで「していない」23.9%、「時々している」21.1%となっています。

○性別で見ると、男女ともに「必要がない」が最も高く、5割前後となっています。



問2 あなたは人から「女だから○○○しなさい」や「男だから○○○しなさい」と言われたことがありますか。(単数回答)

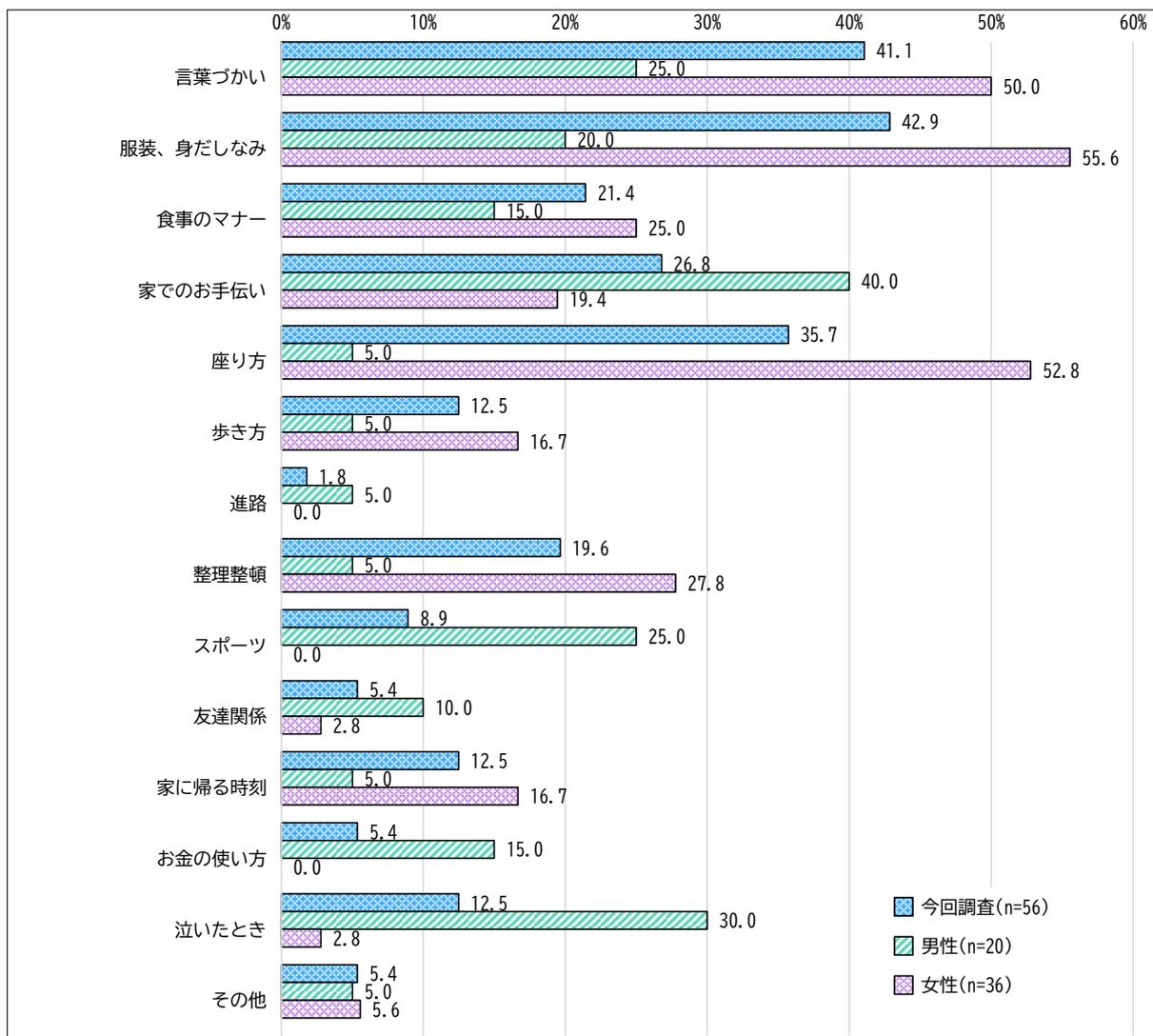
- 「女だから」「男だから」と言われた経験については、「言われたことがない」が42.6%で最も高く、次いで「あまり言われぬ」36.6%「ときどき言われる」16.5%となっています。
- 前回調査と比べると、『言われる：よく言われる+ときどき言われる』が15.1ポイント低く、『言われぬ：あまり言われぬ+言われたことがない』が16.7ポイント高くなっています。
- 性別でみると、女性は男性と比べて『言われる』が高く、『言われぬ』が低くなっており、1割程度差が生じています。



【問2で「1.よく言われる」「2.ときどき言われる」と答えた方のみ】

問2-1 どんなことについて言われましたか。(複数回答)

- 言われた内容については、「服装・身だしなみ」が42.9%と最も高く、次いで「言葉づかい」41.1%、「座り方」35.7%となっています
- 性別で見ると、男性は「家でのお手伝い」が40.0%と最も高く、次いで「泣いたとき」30.0%、「言葉づかい」「スポーツ」25.0%となっており、女性は「服装、身だしなみ」が55.6%と最も高く、次いで「座り方」52.8%、「言葉づかい」50.0%となっています。
- また、男性は女性と比べて「家でのお手伝い」「スポーツ」「お金の使い方」「泣いたとき」が高く、「言葉づかい」「服装、身だしなみ」「食事のマナー」「座り方」「歩き方」「整理整頓」「家に帰る時刻」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

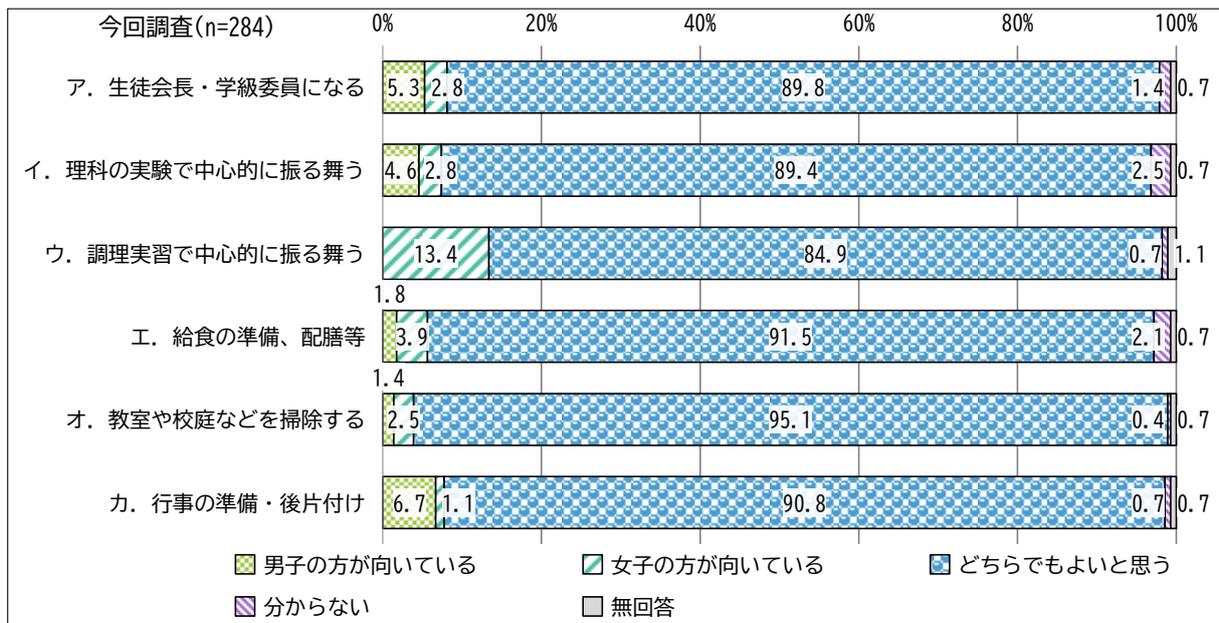


性別	その他
男性	生活
女性	一人称
女性	髪の毛の長さ、女子力

3. 学校での生活について

問3 あなたはクラスや学校で、次の取り組みは、男子と女子のどちらが向いていると思いますか。(単数回答)

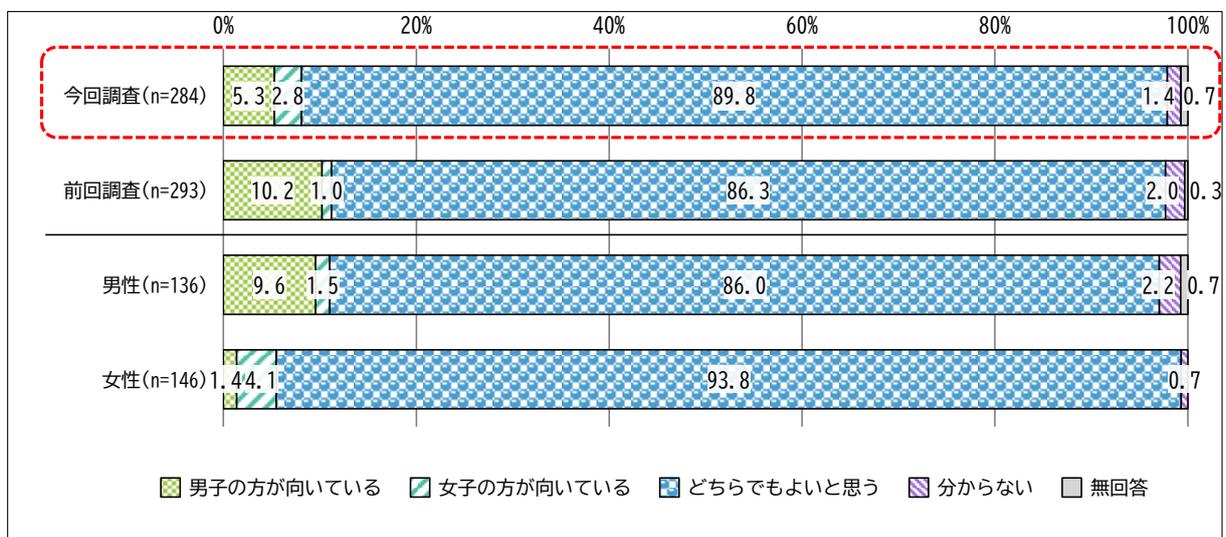
○学校生活における各取り組みへの男女の適性については、すべての項目で「どちらでもよいと思う」が最も高く、いずれも8割以上となっています。また、「調理実習で中心的に振る舞う」では、他の項目と比べて「女子の方が向いている」が1割程度高くなっています。



(ア) 生徒会長・学級委員になる

○「生徒会長・学級委員になる」については、「どちらでもよいと思う」が89.8%と最も高く、次いで「男子の方が向いている」5.3%、「女子の方が向いている」2.8%となっています。

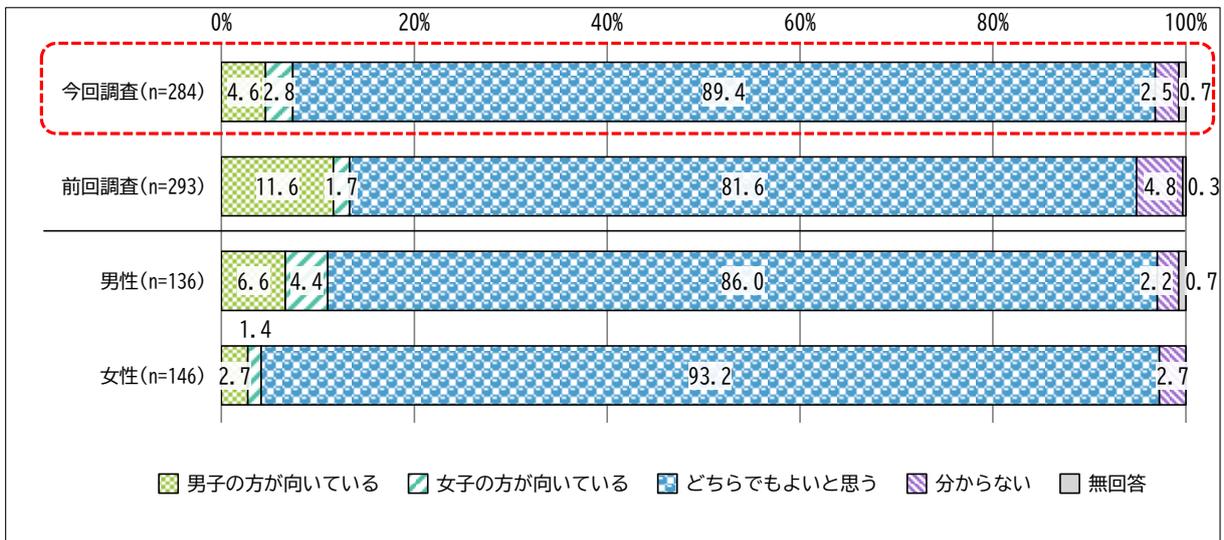
○性別でみると、男女ともに「どちらでもよいと思う」が最も高く、8割を超えています。



(イ) 理科の実験で中心的に振る舞う

○「理科の実験で中心的に振る舞う」については、「どちらでもよいと思う」が89.4%と最も高く、次いで「男子の方が向いている」4.6%、「女子の方が向いている」2.8%となっています。

○性別で見ると、男女ともに「どちらでもよいと思う」が最も高く、8割を超えています。

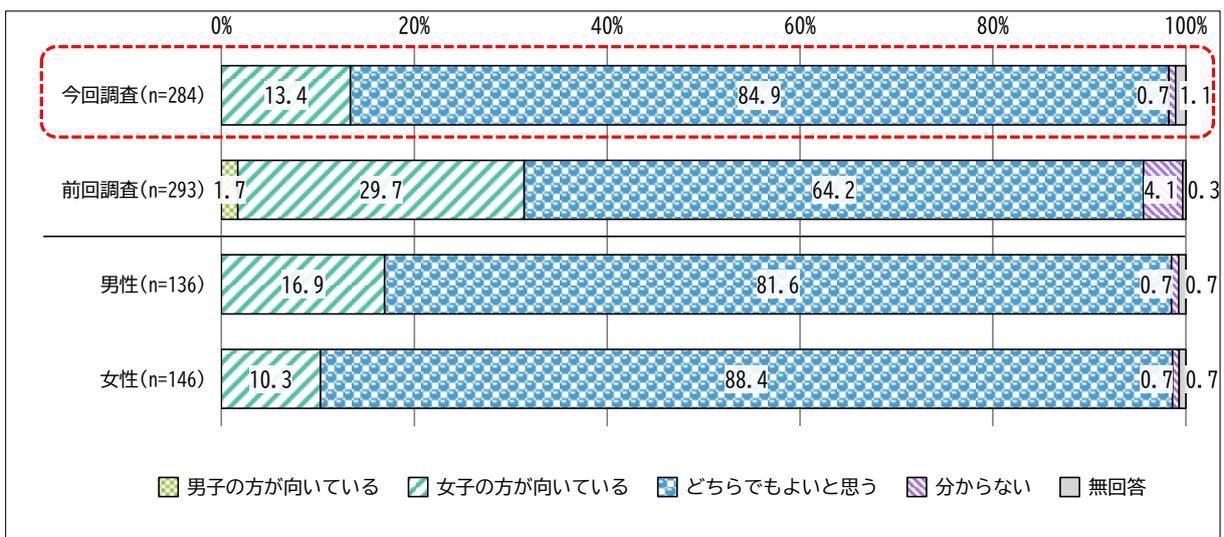


(ウ) 調理実習で中心的に振る舞う

○「調理実習で中心的に振る舞う」については、「どちらでもよいと思う」が84.9%と最も高く、次いで「女子の方が向いている」13.4%、「分からない」0.7%となっています。

○前回調査と比べると、「女子の方が向いている」が16.3ポイント低くなっています。

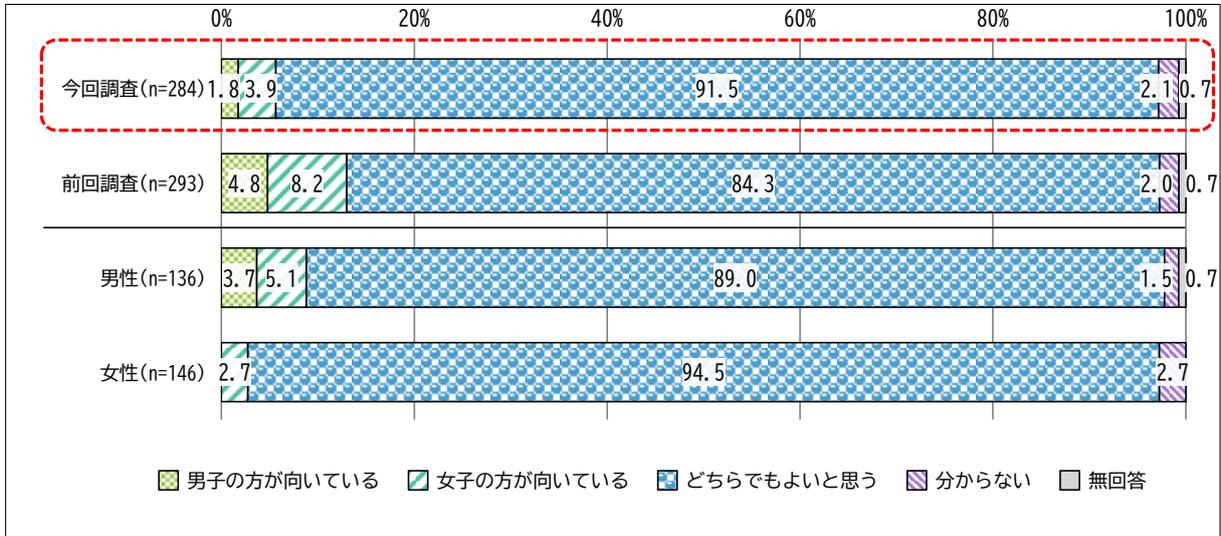
○性別で見ると、男女ともに「どちらでもよいと思う」が最も高いものの、約1割～2割が「女子の方が向いている」と回答しています。



(工) 給食の準備、配膳等

○「給食の準備、配膳等」については、「どちらでもよいと思う」が91.5%と最も高く、次いで「女子の方が向いている」3.9%、「分からない」2.1%となっています。

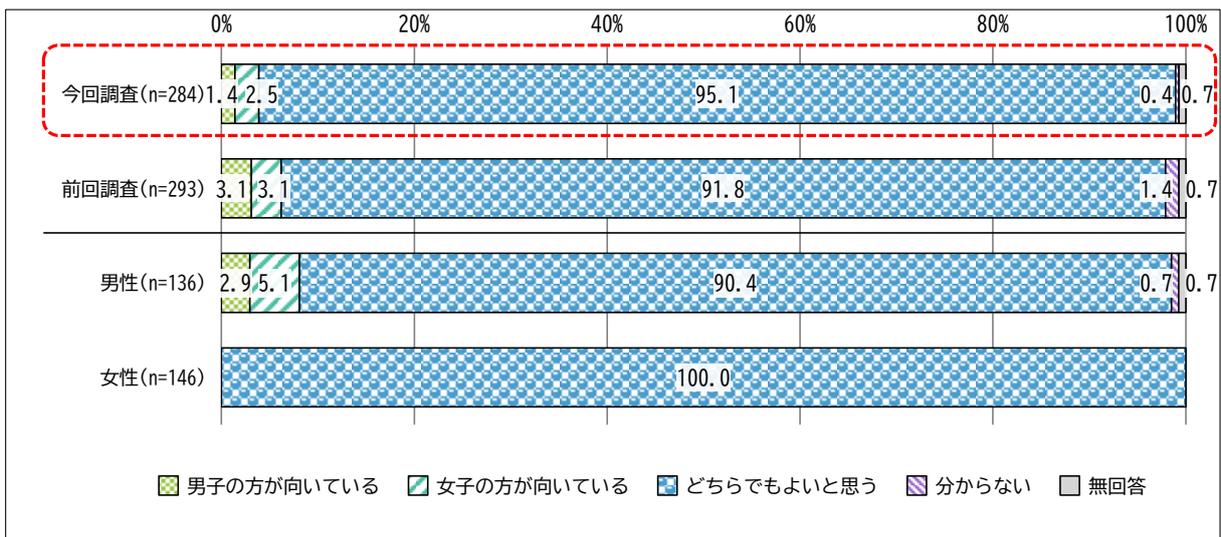
○性別で見ると、男女ともに「どちらでもよいと思う」が最も高く、8割を超えています。



(オ) 教室や校庭などを掃除する

○「教室や校庭などを掃除する」については、「どちらでもよいと思う」が95.1%と最も高く、次いで「女子の方が向いている」2.5%、「男子の方が向いている」1.4%となっています。

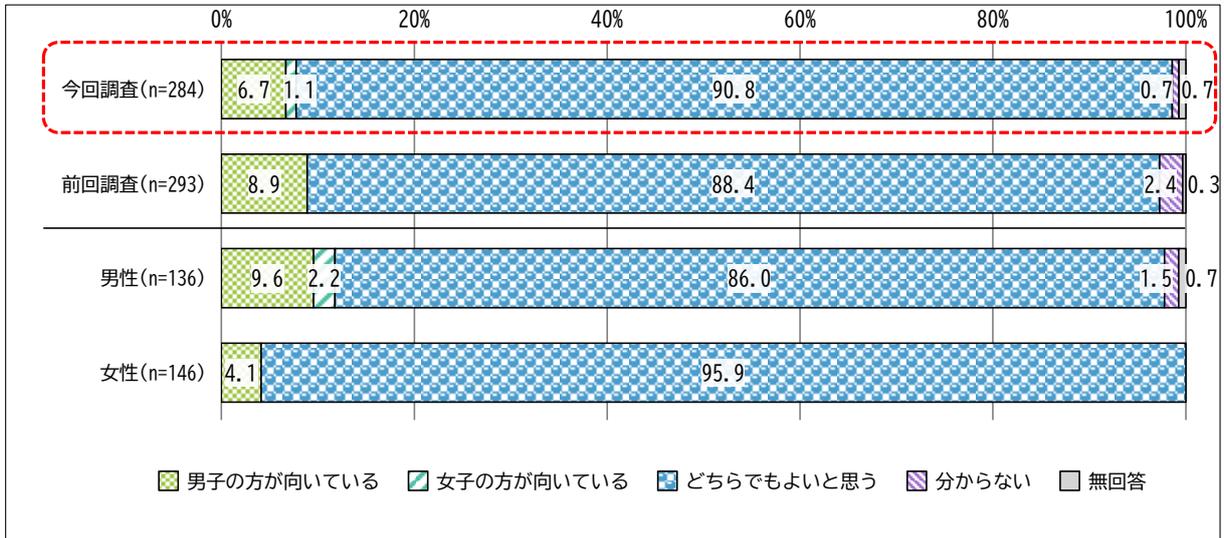
○性別で見ると、男女ともに「どちらでもよいと思う」が最も高く、9割を超えています。



(カ) 行事の準備・後片付け

○「行事の準備・後片付け」については、「どちらでもよいと思う」が90.8%と最も高く、次いで「男子の方が向いている」6.7%、「女子の方が向いている」1.1%となっています。

○性別で見ると、男女ともに「どちらでもよいと思う」が8割を超えており、女性は男性と比べて1割程度高くなっています。

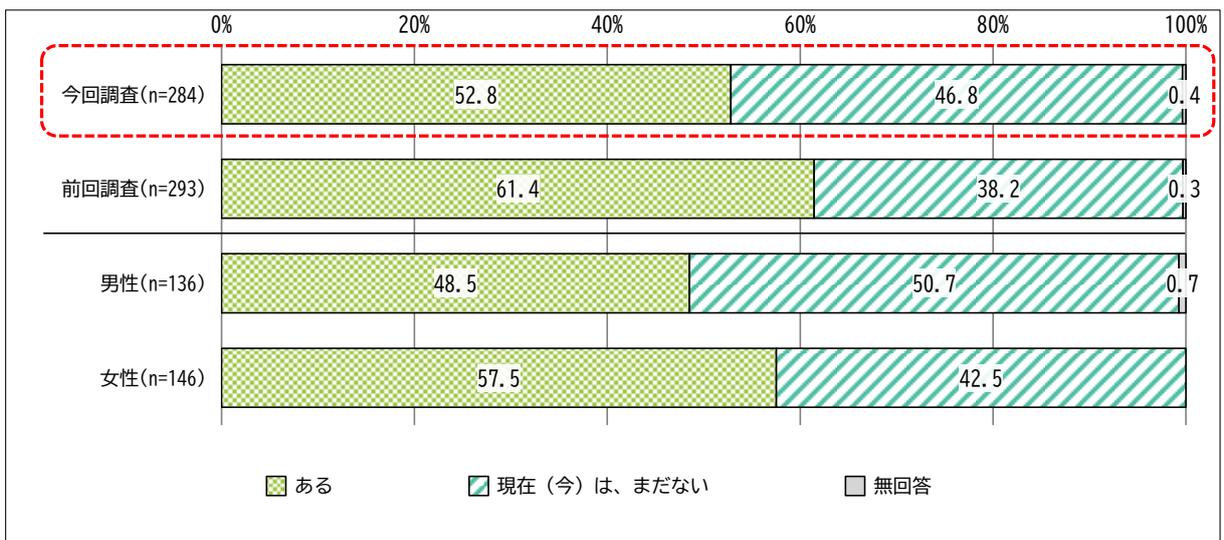


4. 将来について

問4 あなたは将来、なりたいと思う職業はありますか。(単数回答)

○将来なりたいと思う職業の有無については、「ある」が52.8%、「現在（今）は、まだない」が46.8%となっています。

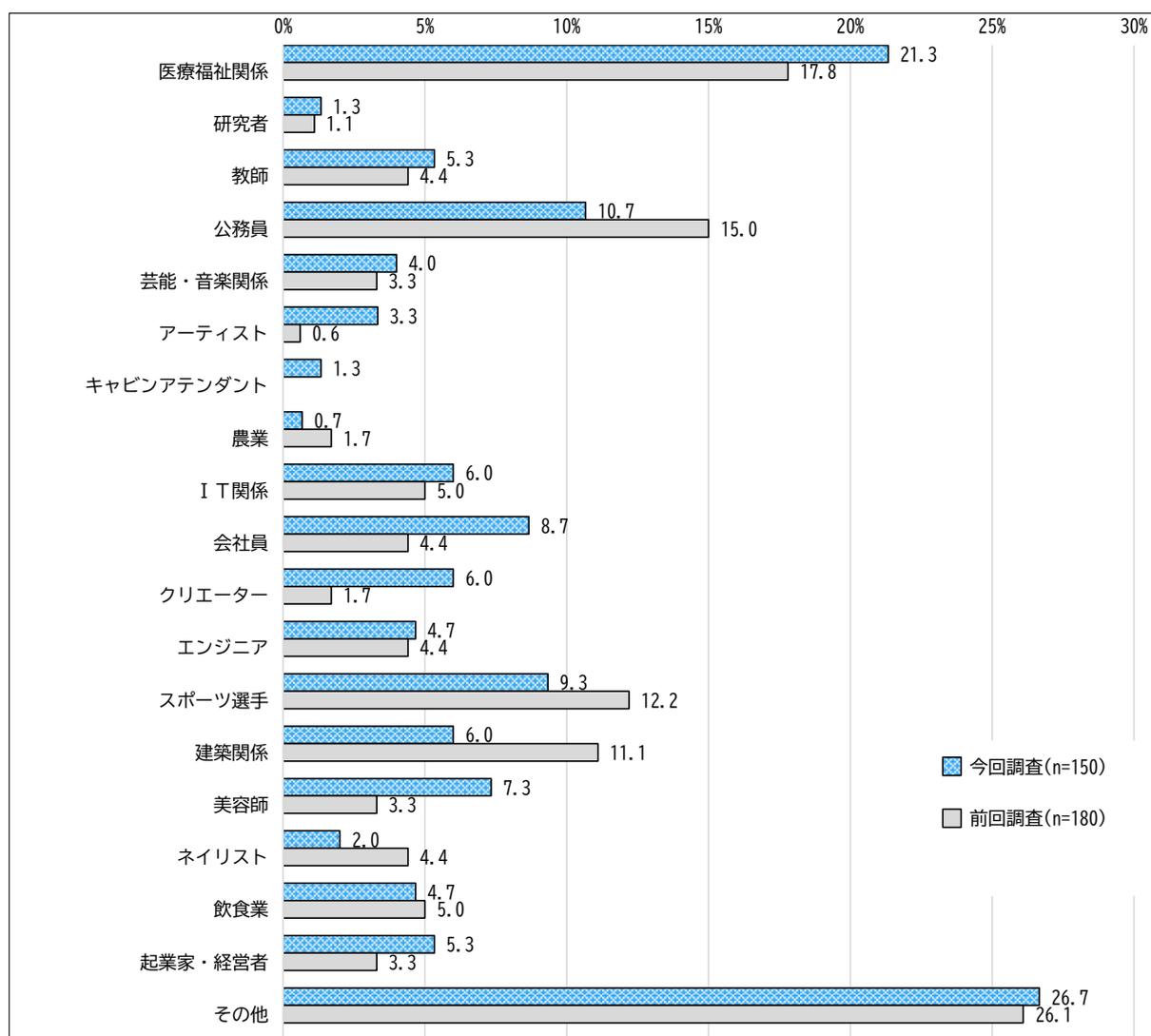
○性別で見ると、男性は「現在（今）は、まだない」が高く、女性は「ある」が高くなっています。



【問4で「1. ある」と答えた方のみ】

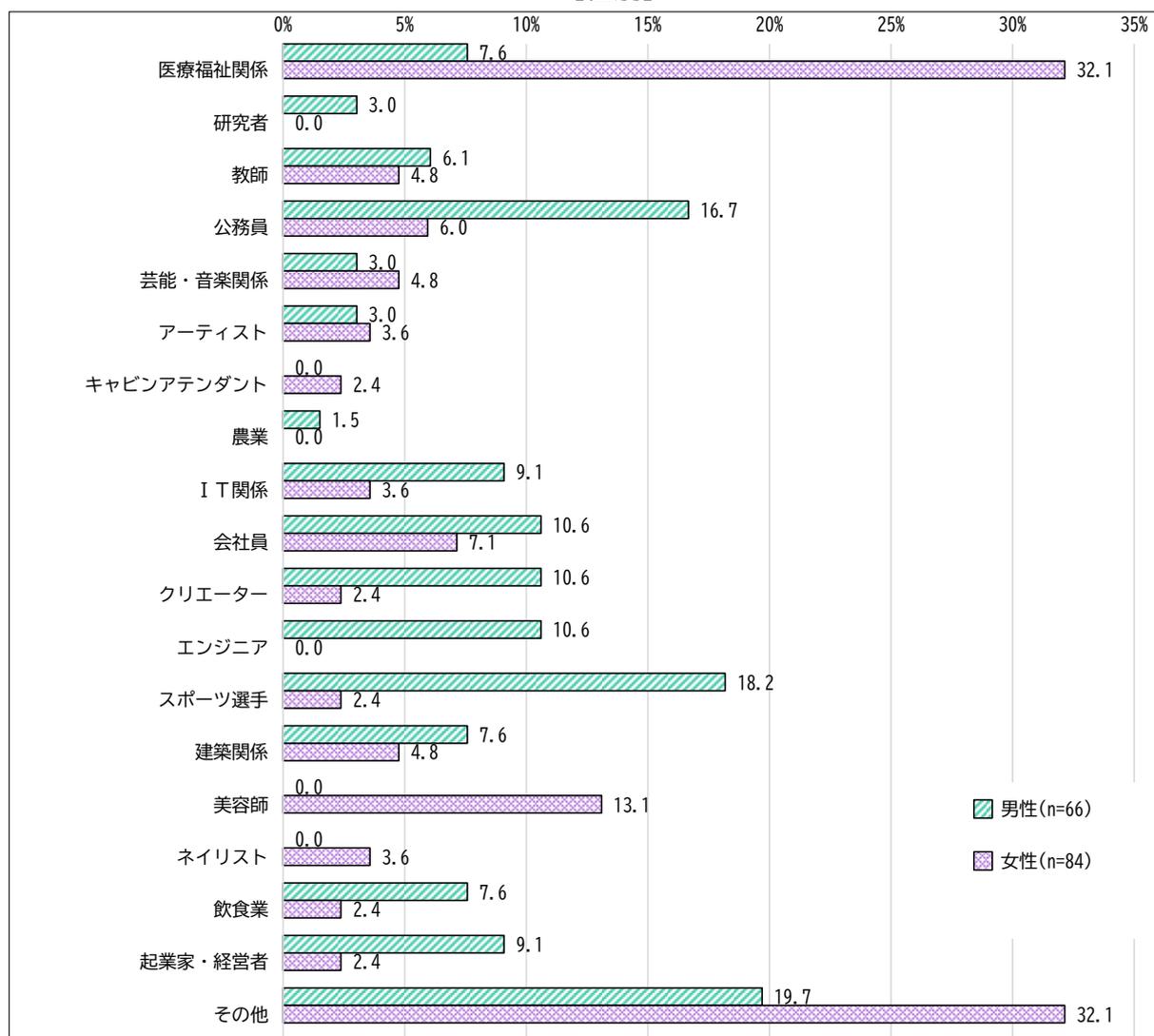
問4-1 あなたが将来なりたい職業は何ですか。(複数回答)

- 将来なりたい職業については、「その他」が26.7%と最も高く、次いで「医療福祉関係」21.3%、「公務員」10.7%となっています。
- 性別で見ると、男性は「その他」が19.7%で最も高く、次いで「スポーツ選手」18.2%、「公務員」16.7%となっており、女性は「医療福祉関係」「その他」が同率で32.1%と最も高く、次いで「美容師」13.1%となっています。また、男性では「公務員」「エンジニア」「スポーツ選手」、女性では「医療福祉関係」「美容師」「その他」がそれぞれ10ポイント以上高くなっています。



※ 「パイロット」、「漁業」、「エステティシャン」に関しては、回答がなかったためグラフから除外。

【性別】



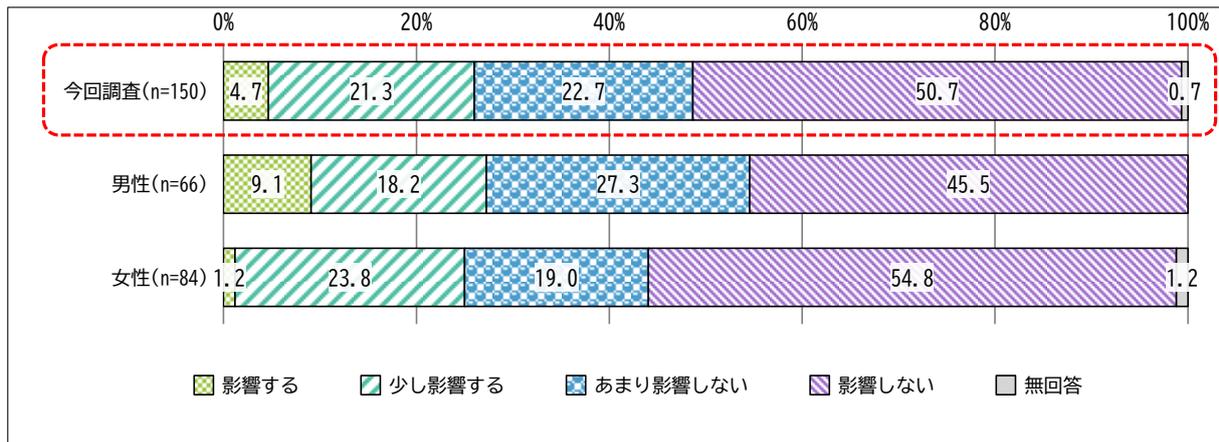
その他 (男性)	
動物関係	料理
プログラマー	イラストレーター
指導者	心理カウンセラー
会計士	考古学者
宮大工、庭師	動物関係
スポーツ関係の職業	窓の設備

その他 (女性)	
図書館司書	声優
動物関係	TV スタッフ
保育士	ブライダル関係
パティシエ	イラストレーター
美容関係の仕事	看護獣医師
アイドル	職人
アパレル	動物の看護師
ウェディングプランナーかアイリスト	
カメラマン (自然系の)	

【問4で「1. ある」と答えた方のみ】

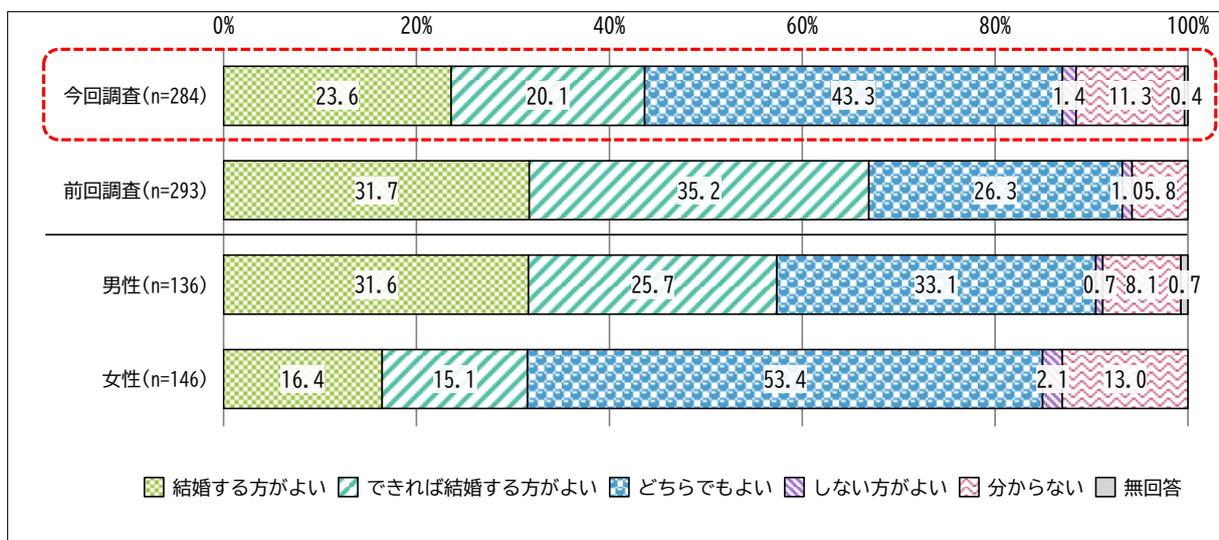
問4-2 将来なりたい仕事を実現する上で、「男であること」もしくは「女であること」が影響すると思いますか。(単数回答)

- 将来なりたい仕事を実現する際の性別の影響については、「影響しない」が50.7%と最も高く、次いで「あまり影響しない」22.7%、「少し影響する」21.3%となっています。
- 性別でみると、男女ともに『影響しない：あまり影響しない+影響しない』が7割を超えています。



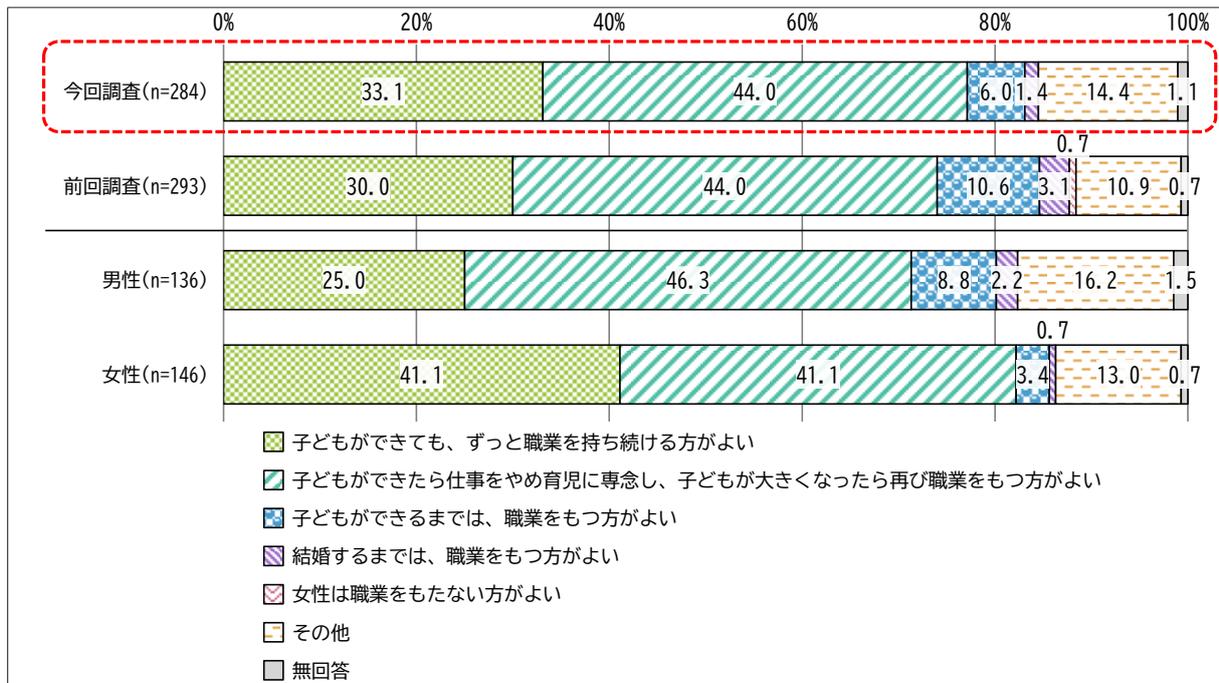
問5 あなたは、結婚についてどのように思いますか。(単数回答)

- 結婚観については、「どちらでもよい」が43.3%と最も高く、次いで「結婚する方がよい」23.6%「できれば結婚する方がよい」20.1%となっています。
- 前回調査と比べると、『結婚する方がよい：結婚する方がよい+できれば結婚する方がよい』が23.2ポイント低く、「どちらでもよい」が17.0ポイント高くなっています。
- 性別でみると、男性は女性と比べて『結婚する方がよい』が高く、「どちらでもよい」が低くなっており、20ポイント以上差が生じています。



問6 あなたは女性が職業を持つことについてどう思いますか。(単数回答)

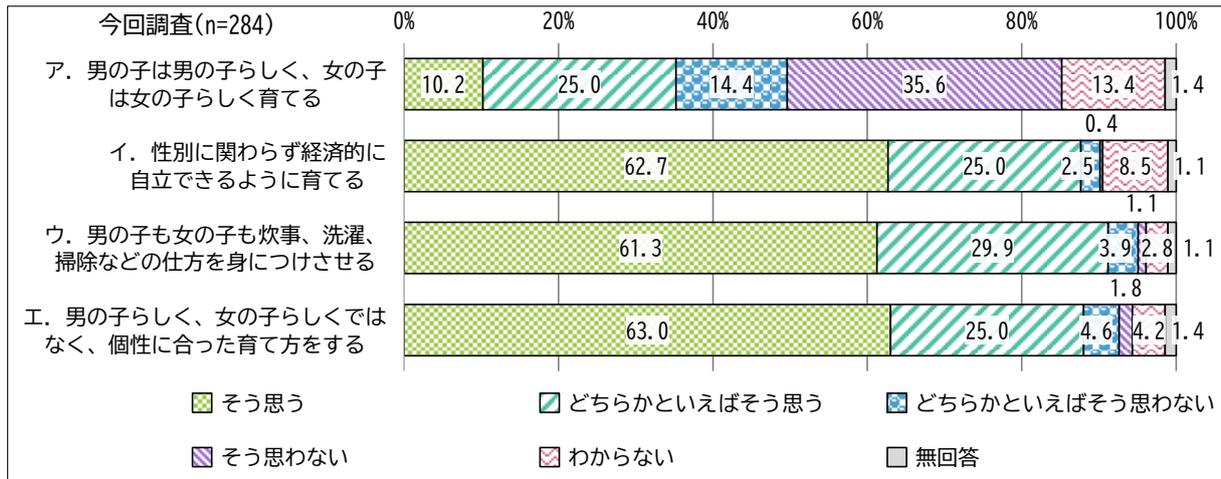
- 女性が職業を持つことについては、「子どもができたら仕事をやめ育児に専念し、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が44.0%と最も高く、次いで「子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい」33.1%、「その他」14.4%となっています。
- 性別でみると、女性は男性と比べて「子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい」が16.1ポイント高くなっています。



性別	その他
男性7名、女性13名	その人しだい、その人の自由、人による、時と場合による、その家庭の事情による、それぞれの判断、生活にあわせて考える
男性5名、女性2名	どちらでもいい
男性2名、女性1名	わからない
男性3名	どうも思わない、特に思わない、特に何も思わない
男性1名、女性1名	その人の気持ちを尊重する、その人の気持ちを尊重する人がしたい方にする
男性	女性が自分で決める
男性	その人に合った職やタイミングがあると思うからどうも思わない。
男性	働きたければ働けばいい
男性	その人がやりたいようにやればいいと思う
女性	仕事をいったん休んで女性と男性で交代しながら育児をし、子どもが大きくなったら再び仕事をする。
女性	どうも思わない。子どもを持たないかもしれないから。

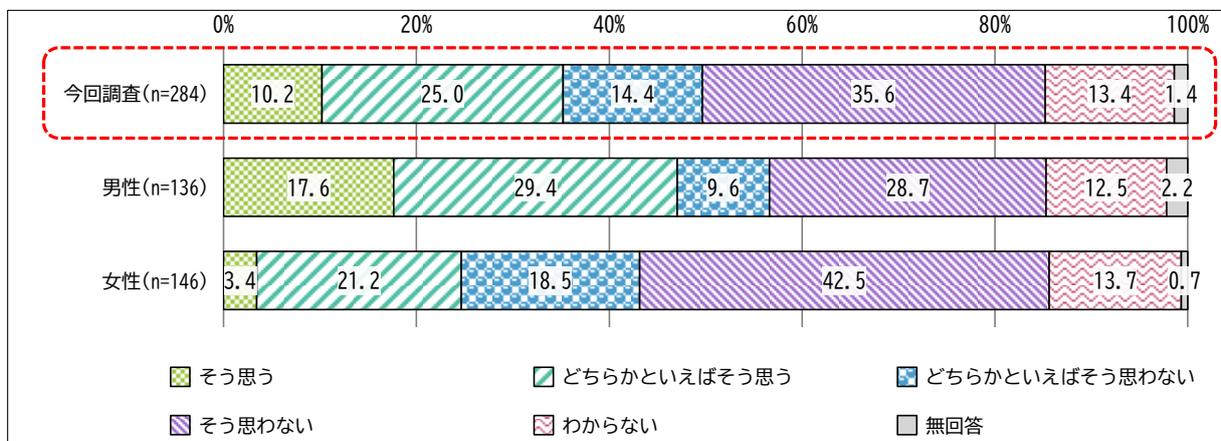
問7 あなたが大人になって、もし子どもを育てるとするならば、どのように育てたいと思いますか。(単数回答)

○子どもの育て方については、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる」については『そう思う：そう思う+どちらかといえばそう思う』が35.2%、『そう思わない：どちらかといえばそう思わない+そう思わない』が50.0%であり、『そう思わない』が高くなっています。一方、「性別に関わらず経済的に自立できるように育てる」「男の子も女の子も炊事、洗濯、掃除などの仕方を身につけさせる」「男の子らしく、女の子らしくではなく、個性に合った育て方をする」については、いずれも『そう思う』が8割を超えています。



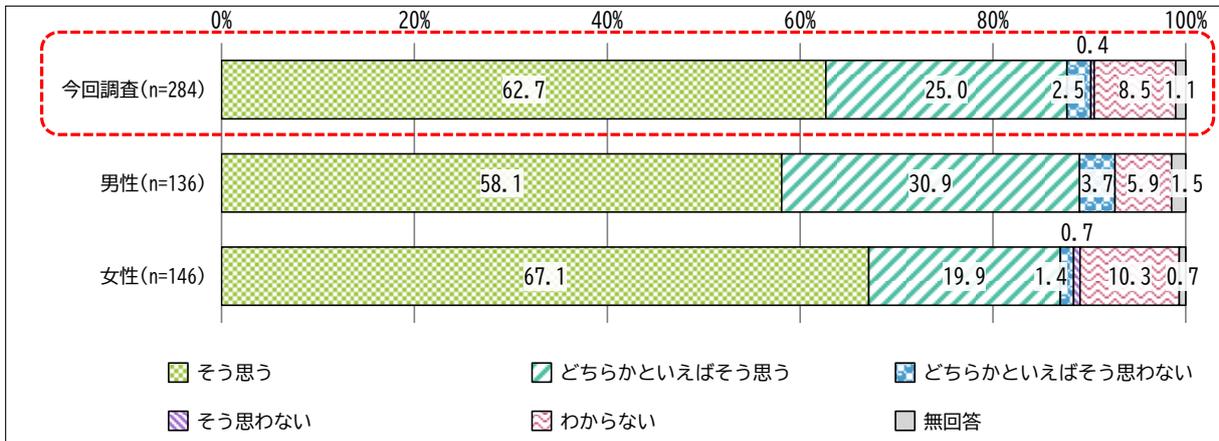
(ア) 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる

- 「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる」については、「そう思わない」が35.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」25.0%、「どちらかといえばそう思わない」14.4%となっています。
- 性別で見ると、男性は女性と比べて『そう思う』が高く、『そう思わない』が低くなっており、20ポイント以上差が生じています。



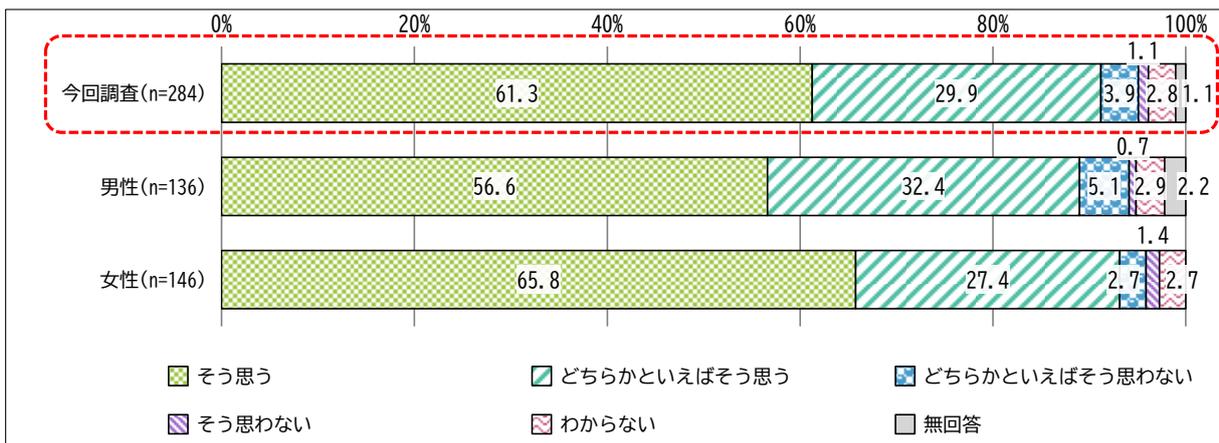
(イ) 性別に関わらず経済的に自立できるように育てる

- 「性別に関わらず経済的に自立できるように育てる」については、「そう思う」が62.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」25.0%、「わからない」8.5%となっています。
- 性別で見ると、男性は女性と比べて「どちらかといえばそう思う」が11.0ポイント高くなっています。



(ウ) 男の子も女の子も炊事、洗濯、掃除などの仕方を身につけさせる

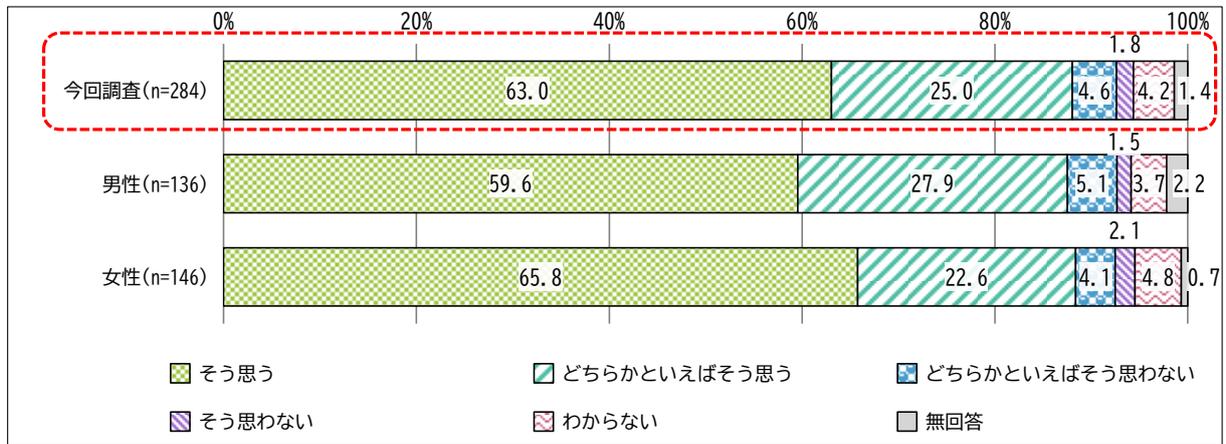
- 「男の子も女の子も炊事、洗濯、掃除などの仕方を身につけさせる」については、「そう思う」が61.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」29.9%、「どちらかといえばそう思わない」3.9%となっています。
- 性別で見ると、男女ともに『そう思う』が9割前後となっています。



(エ) 男の子らしく、女の子らしくではなく、個性に合った育て方をする

○「男の子らしく、女の子らしくではなく、個性に合った育て方をする」については、「そう思う」が63.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」25.0%、「どちらかといえばそう思わない」4.6%となっています。

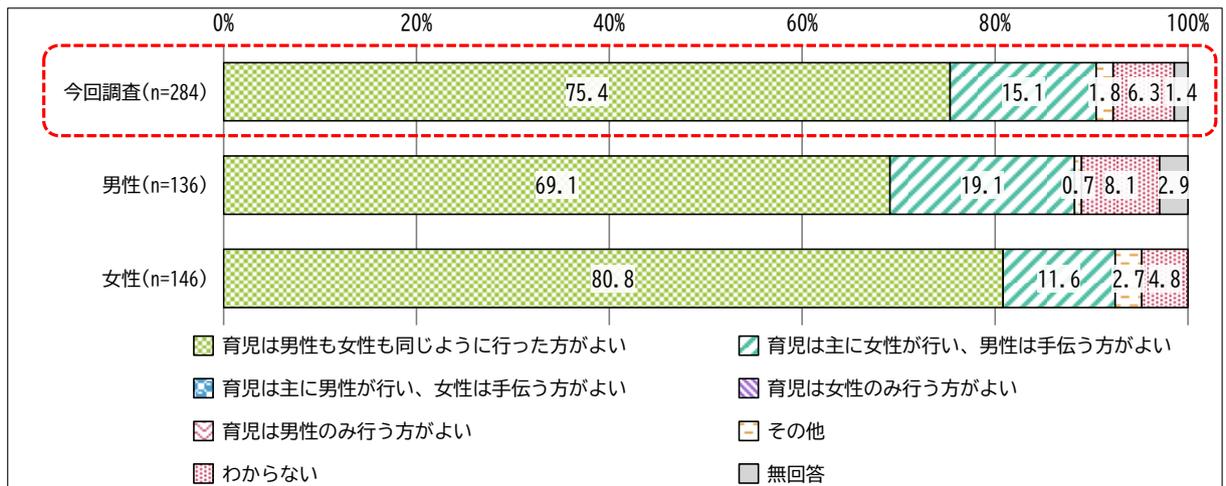
○性別で見ると、男女ともに『そう思う』が約9割となっています。



問8 あなたは、子育てをするうえでの男性・女性の役割について、どのように思いますか。(単数回答)

○子育てにおける男女の役割については、「育児は男性も女性も同じように行った方がよい」が75.4%と最も高く、次いで「育児は主に女性が行い、男性は手伝う方がよい」15.1%、「わからない」6.3%となっています。

○性別で見ると、女性は男性と比べて「育児は男性も女性も同じように行った方がよい」が11.7ポイント高くなっています。

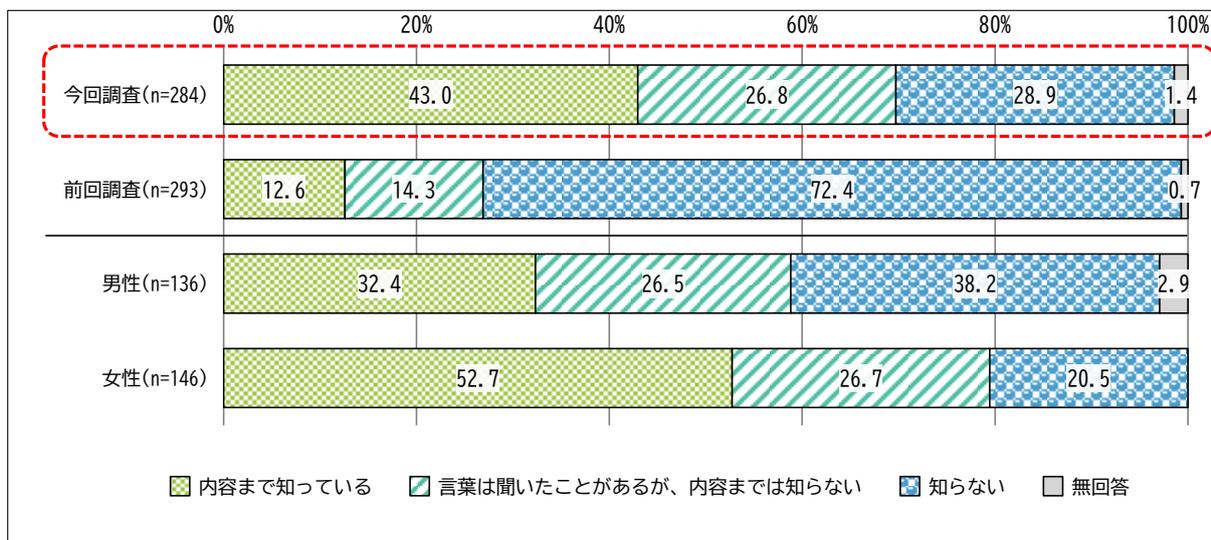


性別	その他	性別	その他
男性	仕事をしていない方が育児をしたほうがよい	女性	家庭による
女性	両方が仕事をしていたら「育児は男性も女性も～」、片方だけだったら「育児は主に女性～」もしくは「育児は主に男性～」だと思う。	女性	その場の状況
		女性	したいようにすればいい

5. デートDVについて

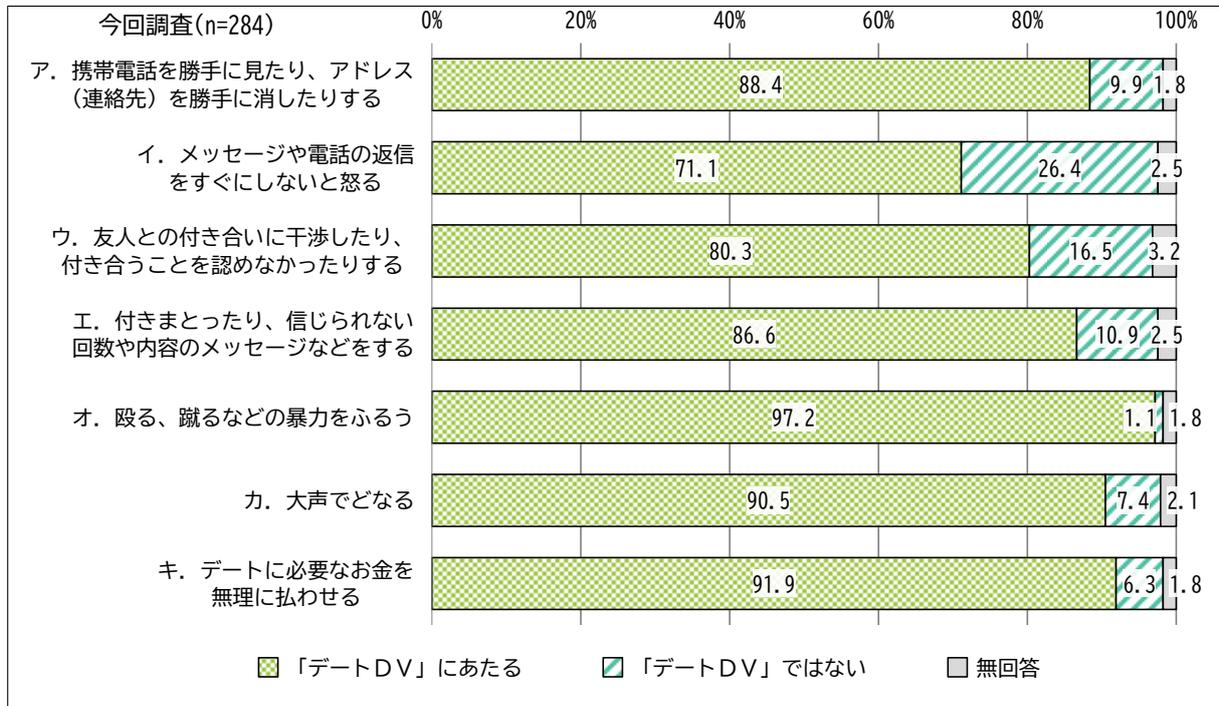
問9 あなたは「デートDV」という言葉を聞いたことはありますか。(単数回答)

- 「デートDV」という言葉の認知状況については、「内容まで知っている」が43.0%と最も高く、次いで「知らない」28.9%、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」26.8%となっています。
- 前回調査と比べると、『知っている：内容まで知っている+言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない』が高く、「知らない」が低くなっており、4割以上差が生じています。
- 性別でみると、女性は男性と比べて『知っている』が高く、「知らない」が低くなっており、2割前後差が生じています。



問10 あなたは、交際相手の間で起こる次のことについて「デートDV」だと思いますか。(単数回答)

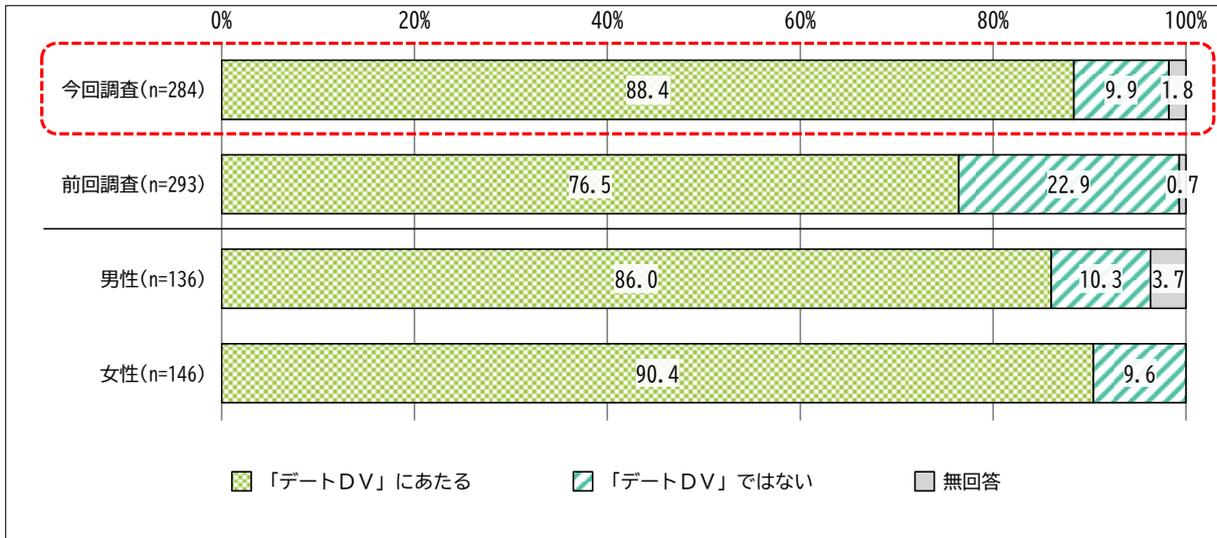
○交際相手との間で起こる行為のうち、「デートDV」にあたるかどうかについて、『「デートDV」にあたる』は「殴る、蹴るなどの暴力をふるう」が97.2%と最も高く、次いで「デートに必要なお金を無理に払わせる」91.9%、「大声でどなる」90.5%となっており、いずれも9割を超えています。一方、『「デートDV」ではない』は、「メッセージや電話の返信をすぐにしないと怒る」が26.4%と最も高く、2割を超えています。



(ア) 携帯電話を勝手に見たり、アドレス（連絡先）を勝手に消したりする

○「携帯電話を勝手に見たり、アドレス（連絡先）を勝手に消したりする」ことについて、『「デートDV」にあたる』は88.4%で、前回調査と比べて11.9ポイント高く、一方で『「デートDV」ではない』は9.9%で、13.0ポイント低くなっています。

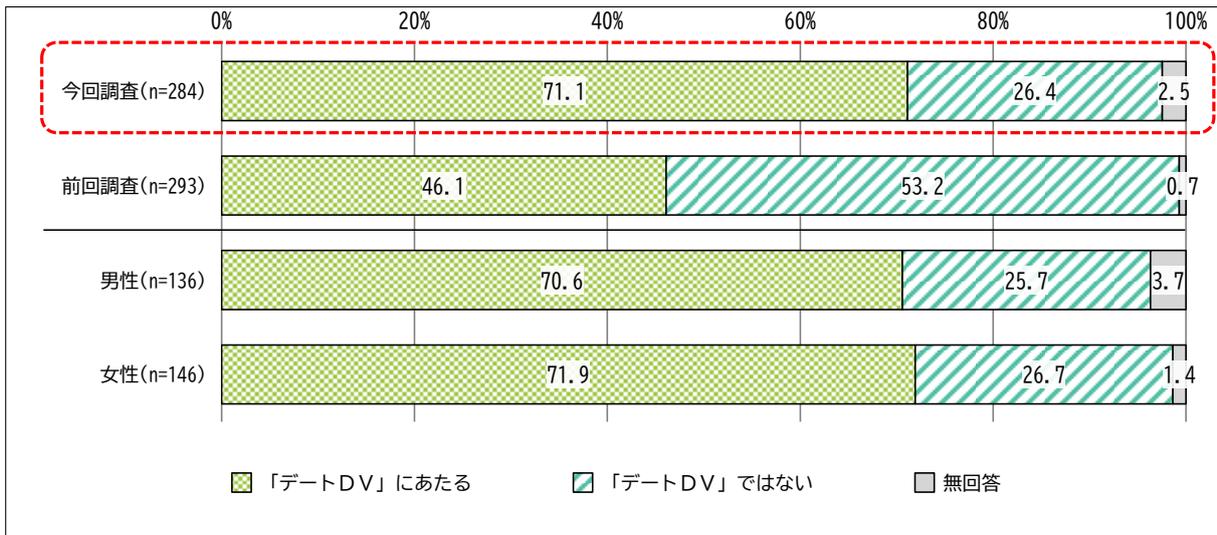
○性別で見ると、男女ともに『「デートDV」にあたる』が8割を超えています。



(イ) メッセージや電話の返信をすぐにしないと怒る

○「メッセージや電話の返信をすぐにしないと怒る」ことについて、『「デートDV」にあたる』は71.1%で、前回調査と比べて25.0ポイント高く、『「デートDV」ではない』は26.4%で、26.8ポイント低くなっています。

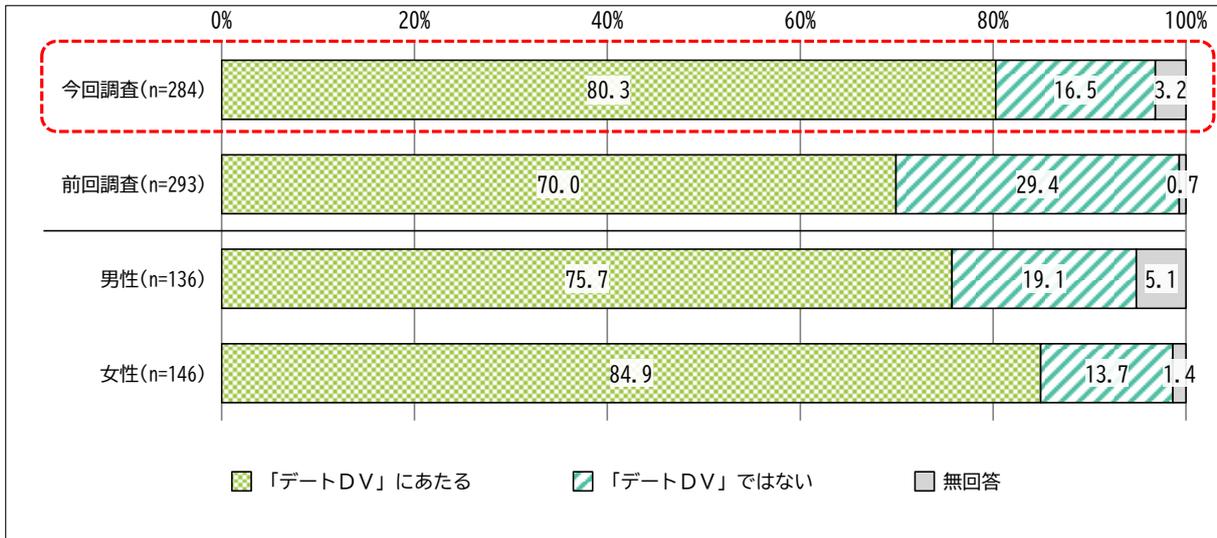
○性別で見ると、男女ともに『「デートDV」にあたる』が7割を超えています。



(ウ) 友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする

○「友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする」ことについて、『「デートDV」にあたる』は80.3%で、前回調査と比べて10.3ポイント高く、『「デートDV」ではない』は16.5%で、12.9ポイント低くなっています。

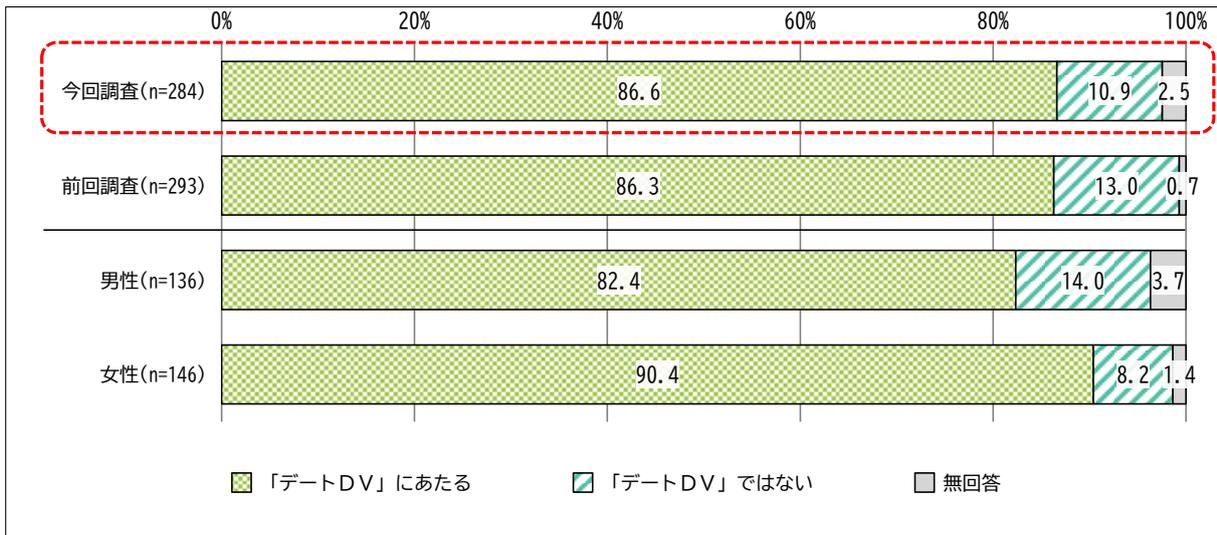
○性別で見ると、男女ともに『「デートDV」にあたる』が7割を超えています。



(エ) 付きまったり、信じられない回数や内容のメッセージなどをする

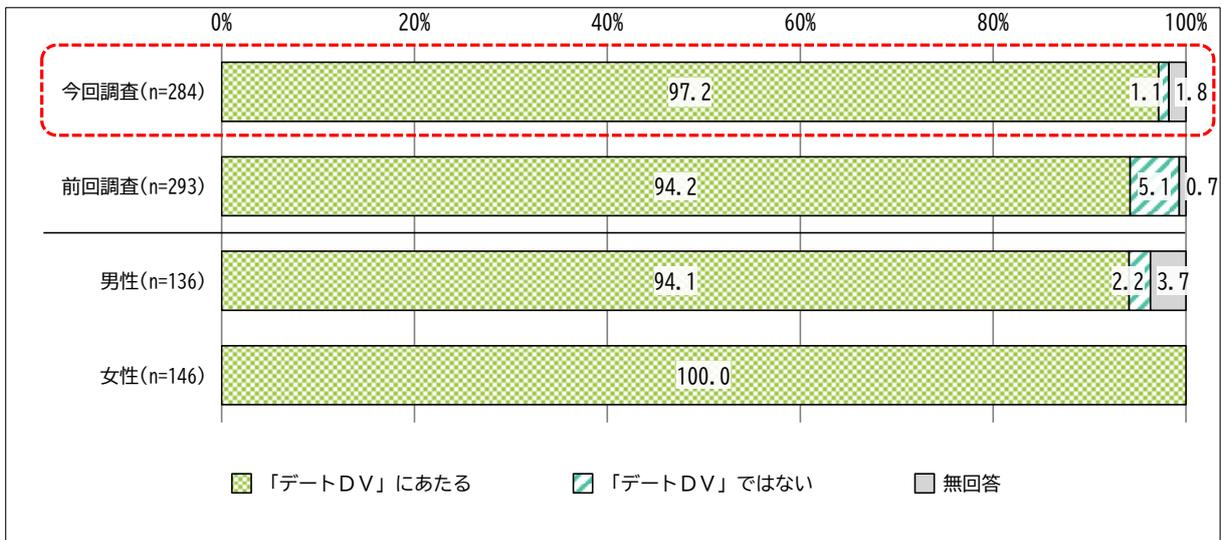
○「付きまったり、信じられない回数や内容のメッセージなどをする」ことについて、『「デートDV」にあたる』は86.6%で、『「デートDV」ではない』は10.9%となっています。

○性別で見ると、男女ともに『「デートDV」にあたる』が8割を超えています。



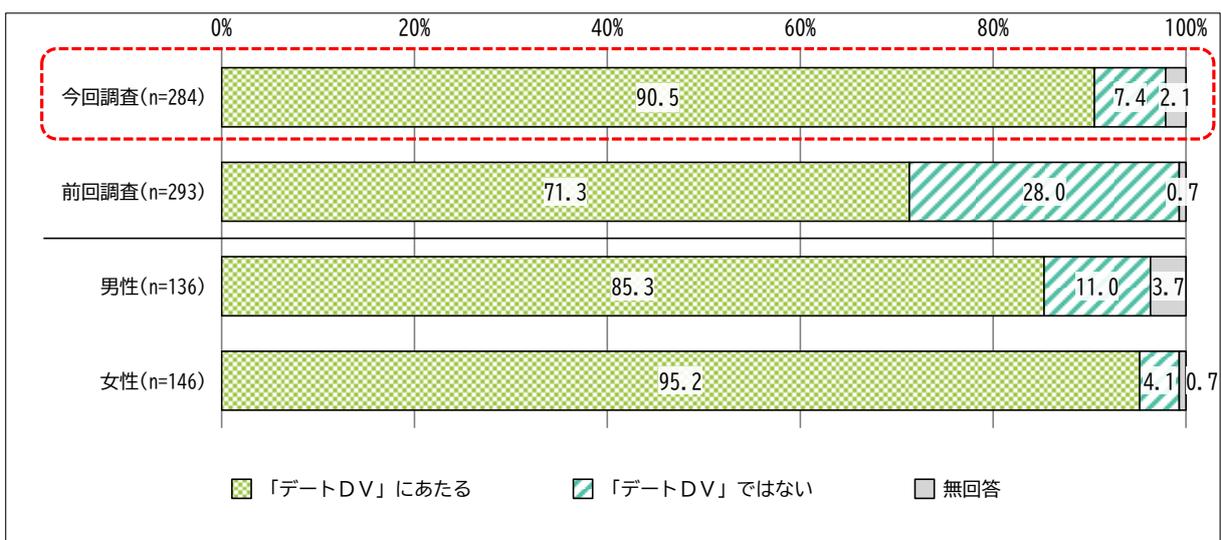
(オ) 殴る、蹴るなどの暴力をふるう

- 「殴る、蹴るなどの暴力をふるう」ことについて、『「デートDV」にあたる』は97.2%で、『「デートDV」ではない』は1.1%となっています。
- 性別でみると、男女ともに『「デートDV」にあたる』が9割を超えており、特に女性は全員が『「デートDV」にあたる』と回答しています。



(カ) 大声でどなる

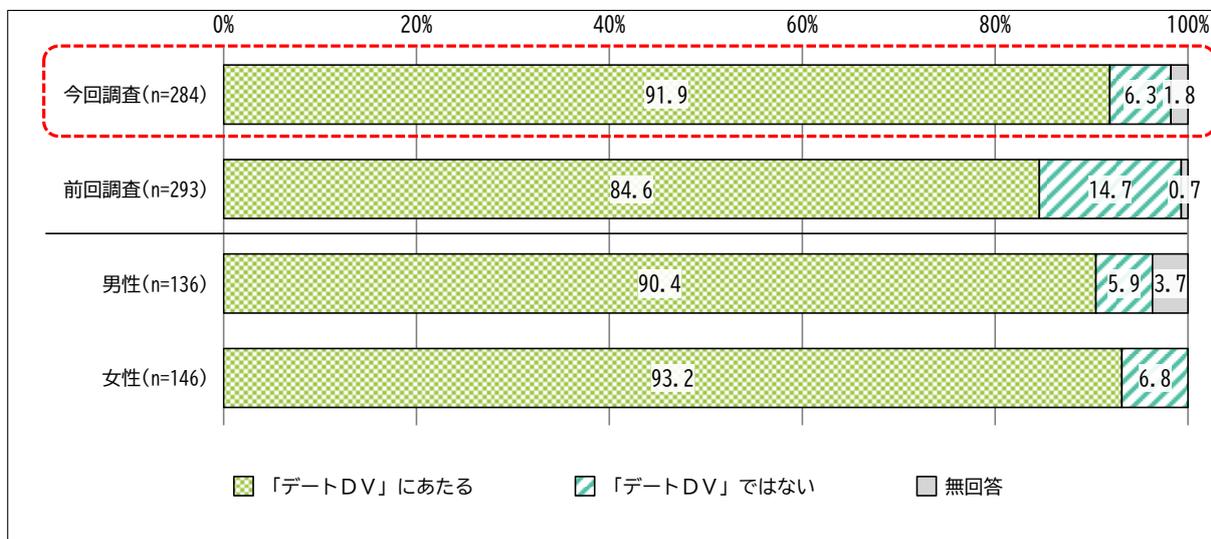
- 「大声でどなる」ことについて、『「デートDV」にあたる』は90.5%で、前回調査と比べて19.2ポイント高く、『「デートDV」ではない』は7.4%で、20.6ポイント低くなっています。
- 性別でみると、女性は男性と比べて『「デートDV」にあたる』が1割程度高くなっています。



(キ) デートに必要なお金を無理に払わせる

○「デートに必要なお金を無理に払わせる」ことについて、『「デートDV」にあたる』は91.9%で、『「デートDV」ではない』は6.3%となっています。

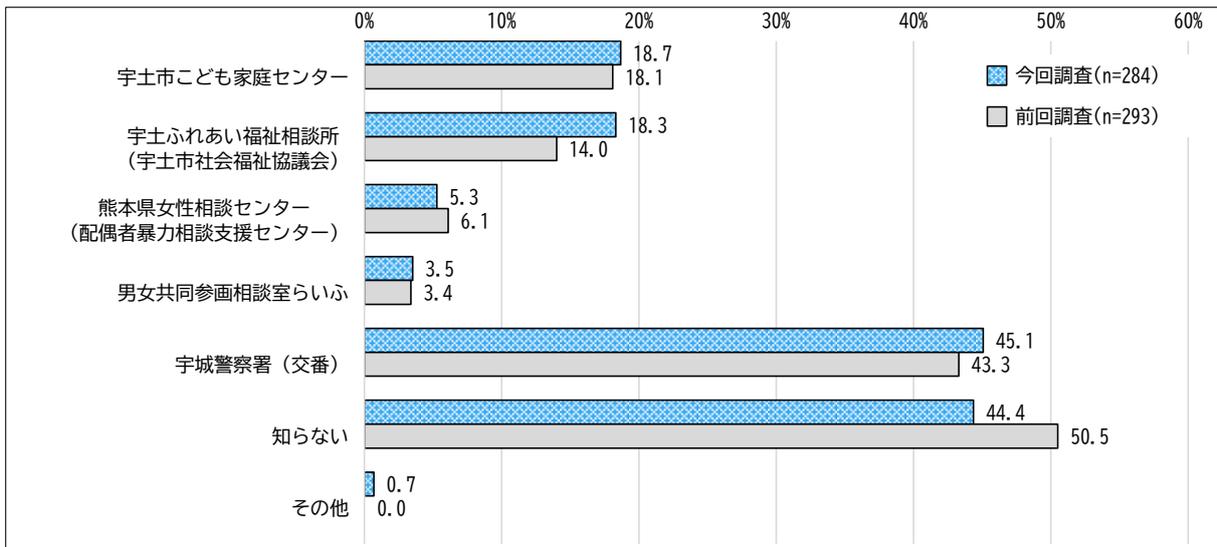
○性別でみると、男女ともに『「デートDV」にあたる』が9割を超えています。



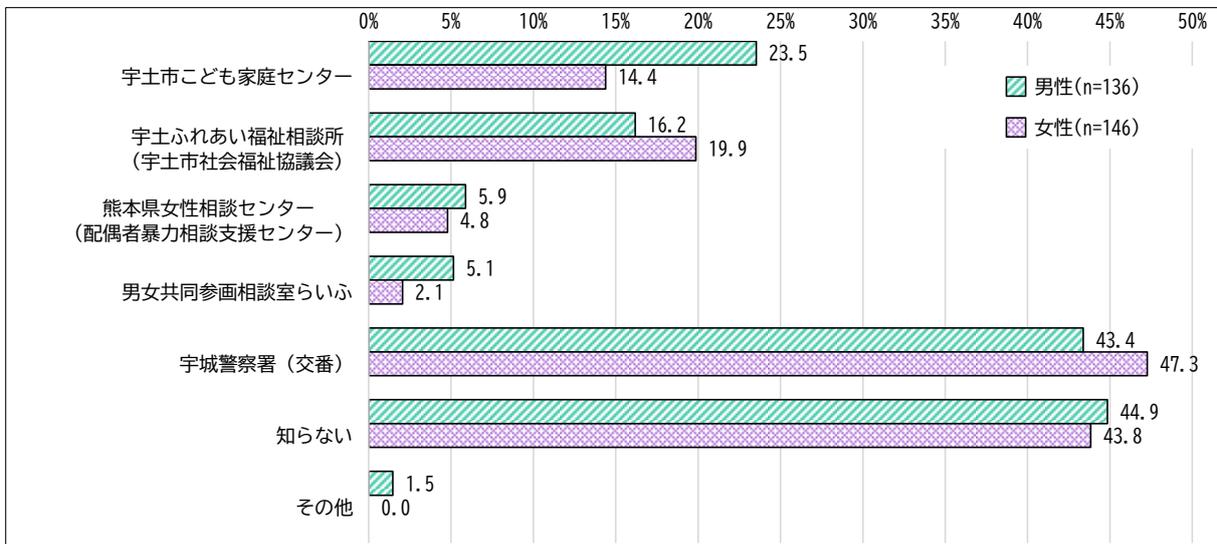
問11 「デートDV」に関する問題で相談できる機関が、市内、県内にあります。聞いたことがあるものについて、選んでください。(複数回答)

○「デートDV」に関する相談窓口の認知状況について、「宇城警察署(交番)」が45.1%と最も高く、次いで「知らない」44.4%、「宇土市子ども家庭センター」18.7%となっています。

○性別で見ると、女性は男性と比べて「宇土市子ども家庭センター」が1割程度高くなっています。



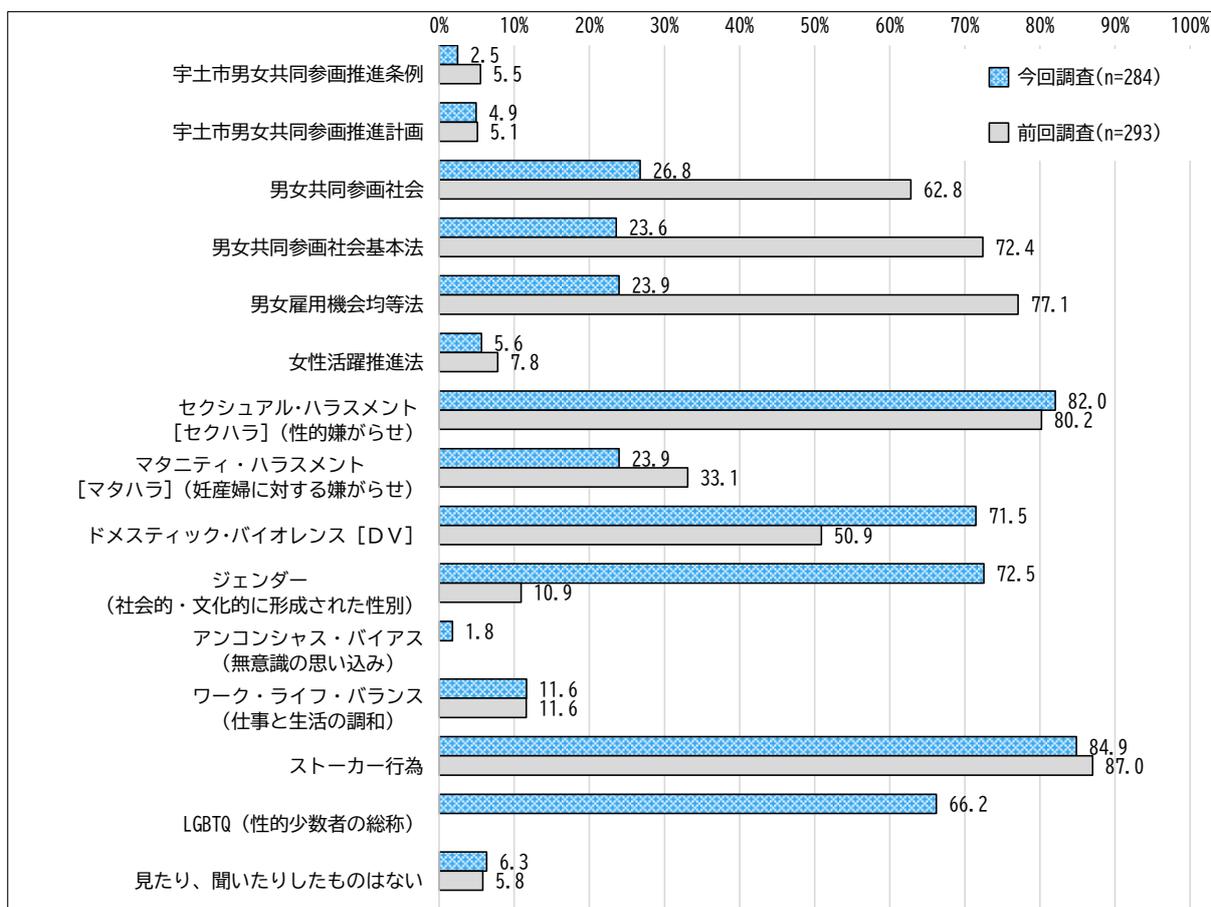
【性別】



6. 男女共同参画社会について

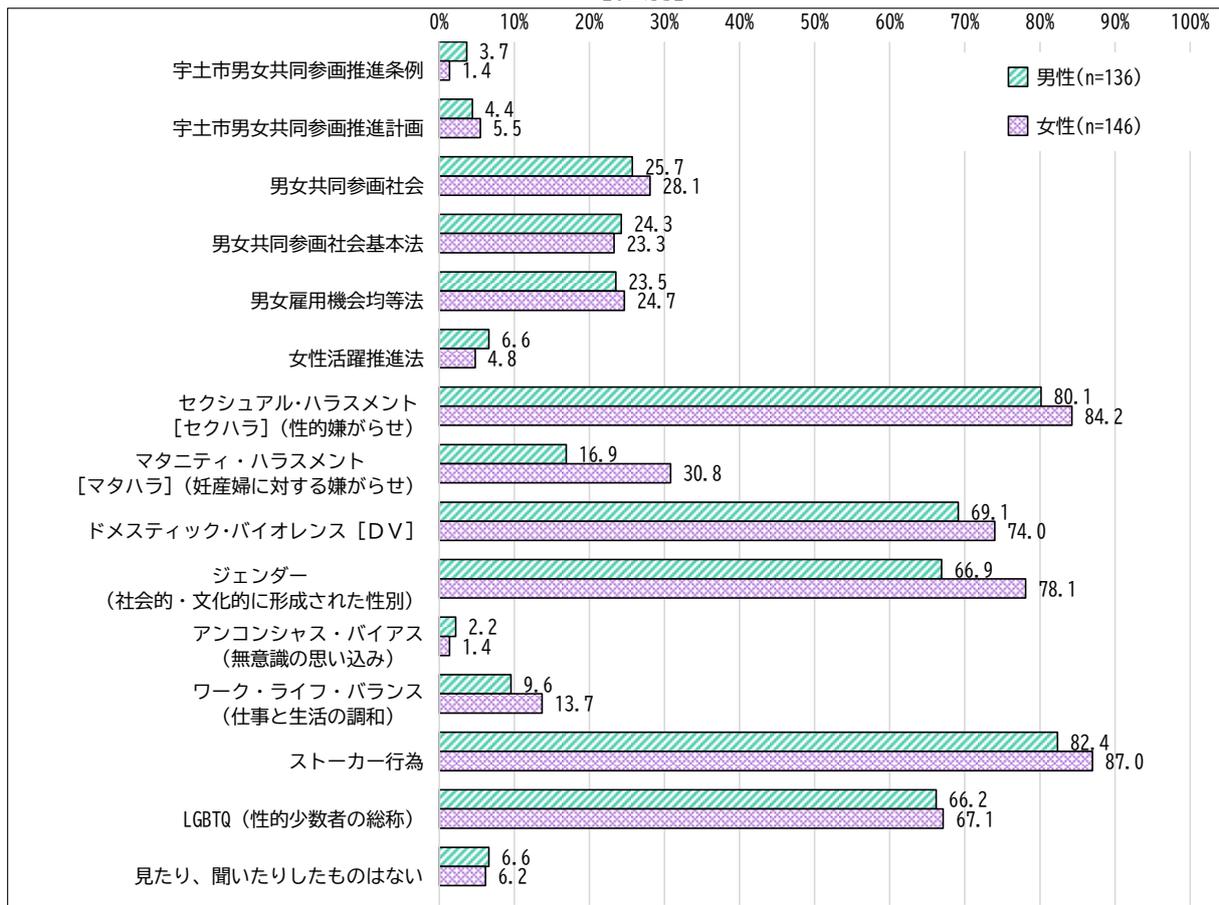
問12 あなたが見たり、聞いたりしたことがあるもの（複数回答）

- 見聞きしたことがある男女共同参画に関する法制度等については、「ストーカー行為」が84.9%と最も高く、次いで「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」82.0%、「ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）」72.5%となっています。また、「ドメスティック・バイオレンス」も7割を超えています。一方、「宇土市男女共同参画推進条例」や「宇土市男女共同参画推進計画」、「女性活躍推進法」、「アンコンシャス・バイアス」は1割未満となっています。
- 性別で見ると、女性は男性と比べて「マタニティ・ハラスメント」、「ジェンダー」が10ポイント以上高くなっています。
- 前回調査との比較については、選択肢構成が異なることから参考程度。



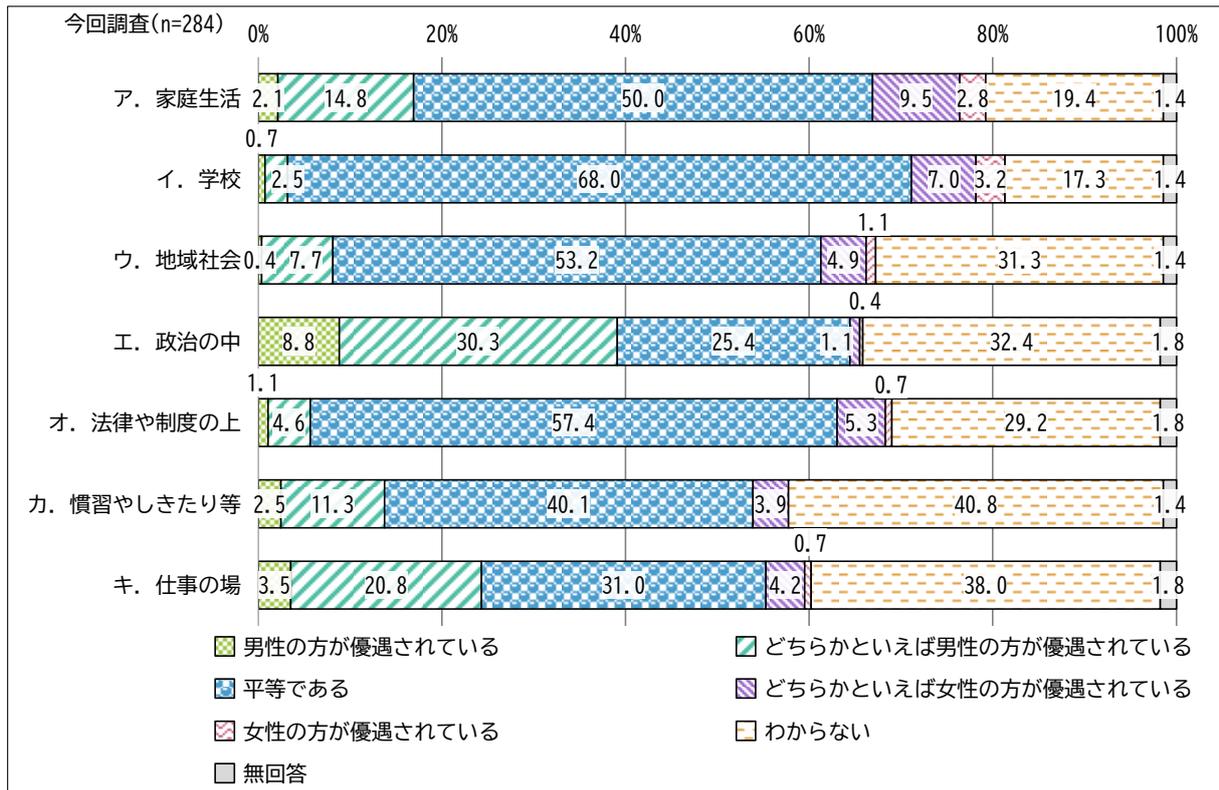
※今回調査から追加：「アンコンシャス・バイアス」「LGBTQ」

【性別】



問13 社会のいろいろな面において、男女は平等になっていると思いますか。
(単数回答)

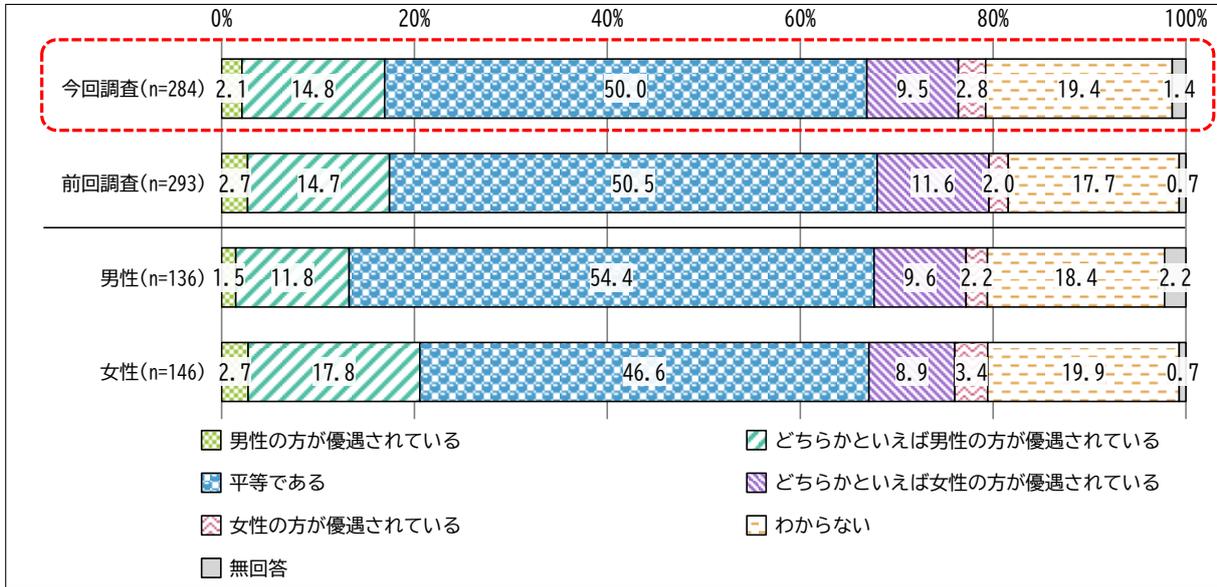
○社会における男女の平等感について、「家庭生活」「学校」「地域社会」「法律や制度の上」では「平等である」が最も高く、「政治の中」「慣習やしきたり等」「仕事の場」では「わからない」が最も高くなっています。また、「政治の中」「慣習やしきたり等」「仕事の場」では『男性の方が優遇されている：男性の方が優遇されている+どちらかといえば男性の方が優遇されている』が『女性の方が優遇されている：どちらかといえば女性の方が優遇されている』より約1割～4割高くなっています。



(ア) 家庭生活では

○「家庭生活」については、「平等である」が50.0%と最も高く、次いで「わからない」19.4%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」14.8%となっています。

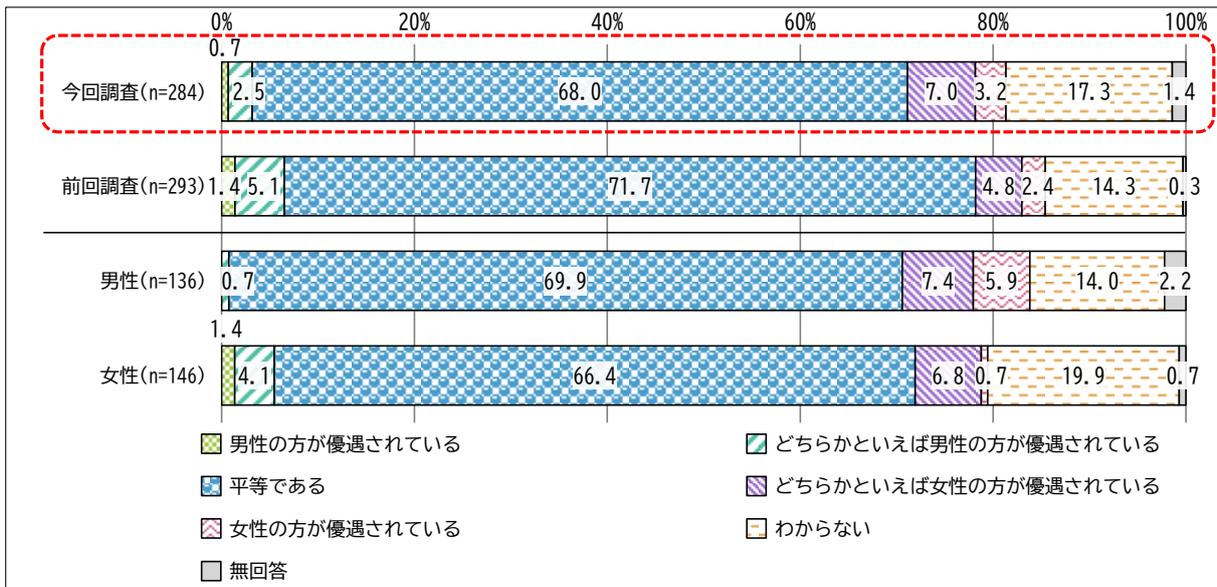
○性別でも、男女ともに「平等である」が最も高くなっています。



(イ) 学校では

○「学校」については、「平等である」が68.0%と最も高く、次いで「わからない」17.3%、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」7.0%となっています。

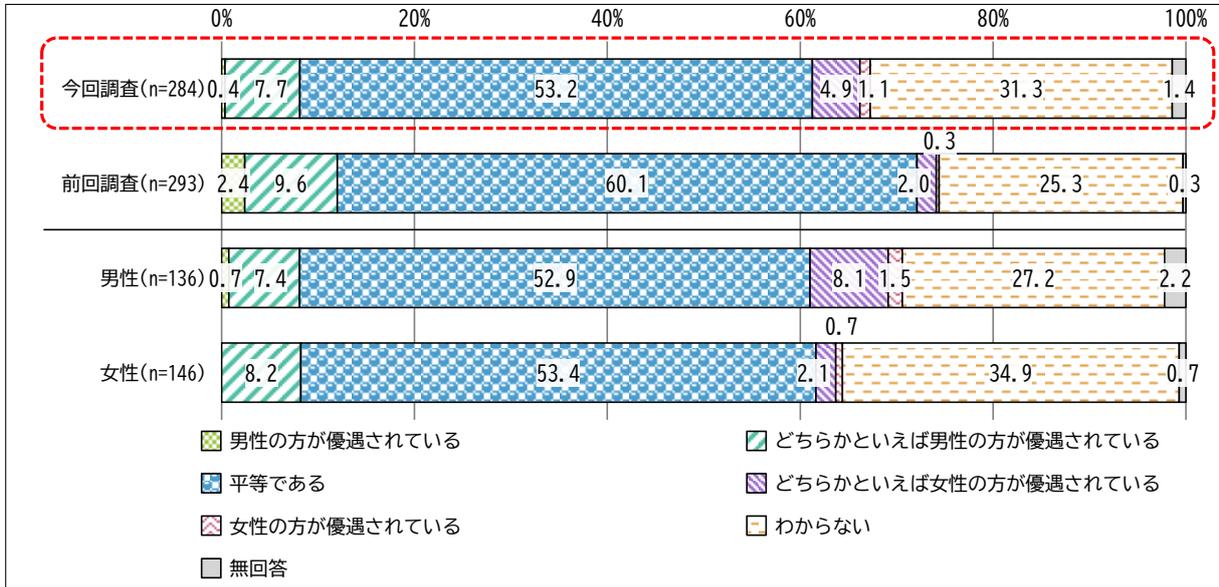
○性別でも、男女ともに「平等である」が最も高くなっています。



(ウ) 地域社会では

○「地域社会」については、「平等である」が53.2%と最も高く、次いで「わからない」31.3%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」7.7%となっています。

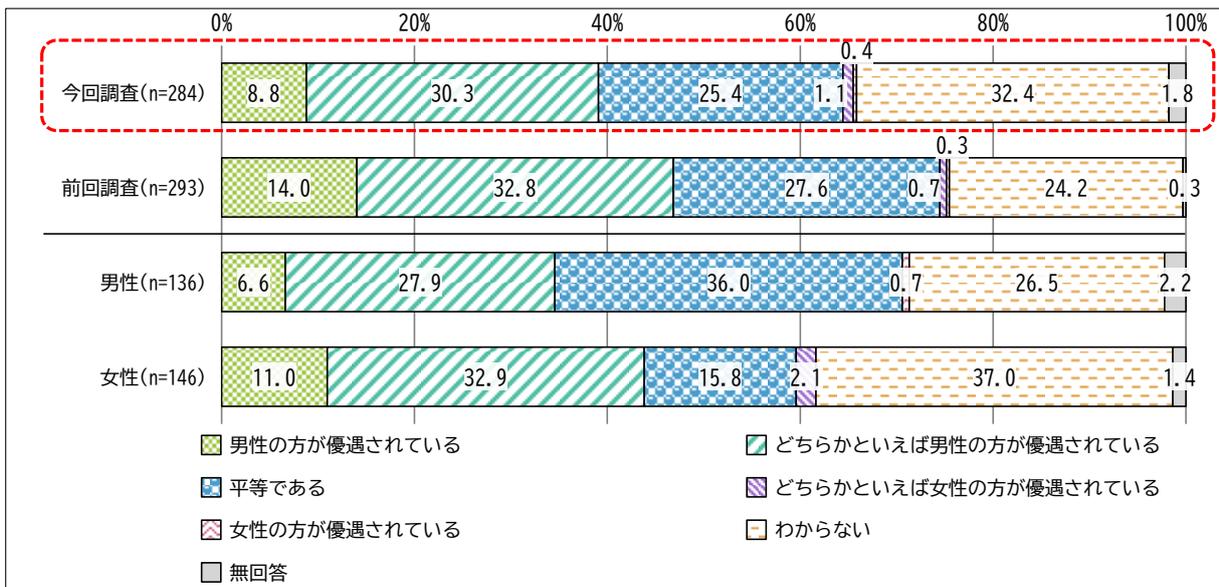
○性別でも、男女ともに「平等である」が最も高くなっています。



(エ) 政治の中では（国会議員や市議会議員など）

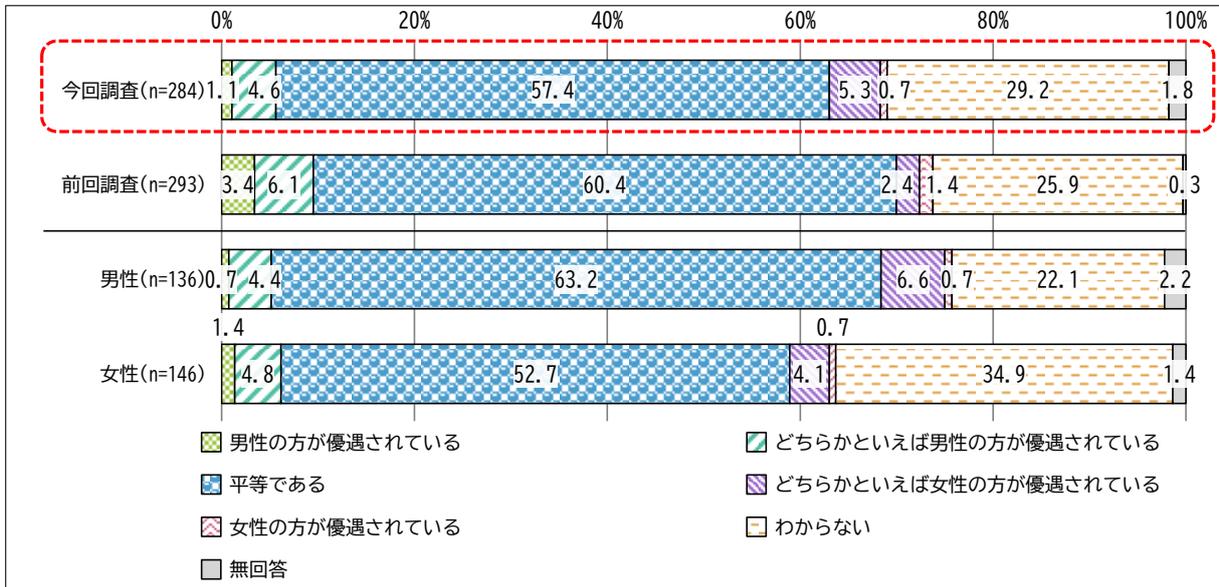
○「政治の中」については、「わからない」が32.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」30.3%、「平等である」25.4%となっています。

○性別で見ると、男性は女性と比べて「平等である」が高く、「わからない」が低くなっており、1割以上差が生じています。



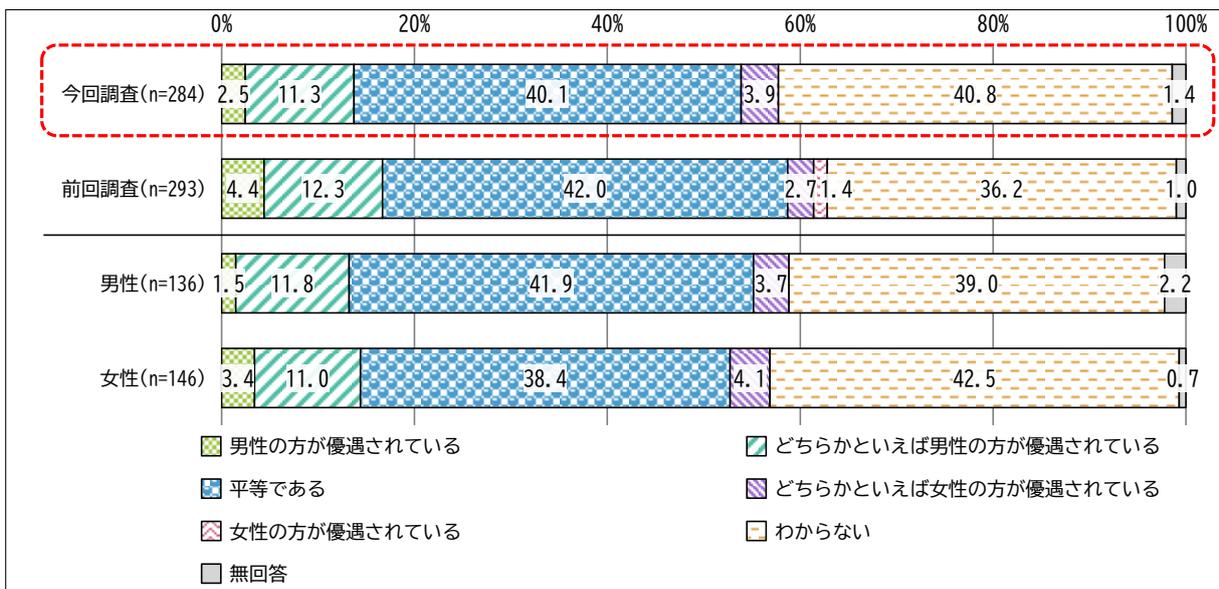
(オ) 法律や制度の上では

- 「法律や制度の上」については、「平等である」が57.4%と最も高く、次いで「わからない」29.2%、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」5.3%となっています。
- 性別でみると、男性は女性と比べて「平等である」が高く、「わからない」が低くなっており、1割以上差が生じています。



(カ) 慣習やしきたり等では

- 「慣習やしきたり等」における男女平等については、「わからない」が40.8%と最も高く、次いで「平等である」40.1%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」11.3%となっています。
- 性別でみると、男女ともに「平等である」「わからない」が4割前後となっています。

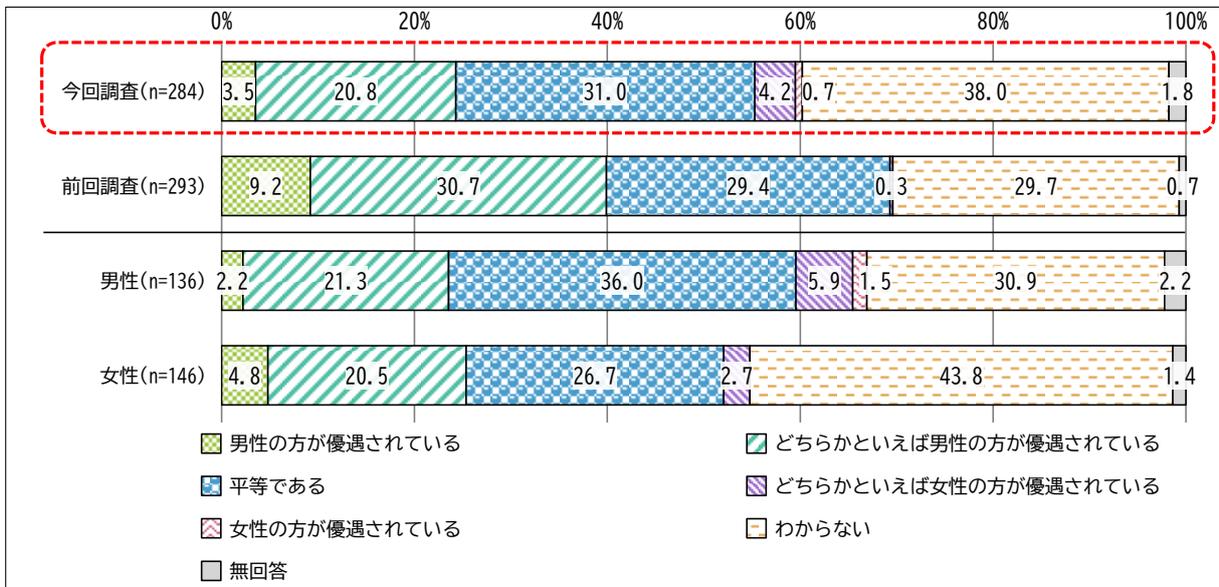


(キ) 仕事の間では

○「仕事の間」における男女平等については、「わからない」が38.0%と最も高く、次いで「平等である」31.0%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」20.8%となっています。

○前回調査と比べると、『男性の方が優遇されている』が15.6ポイント低くなっています。

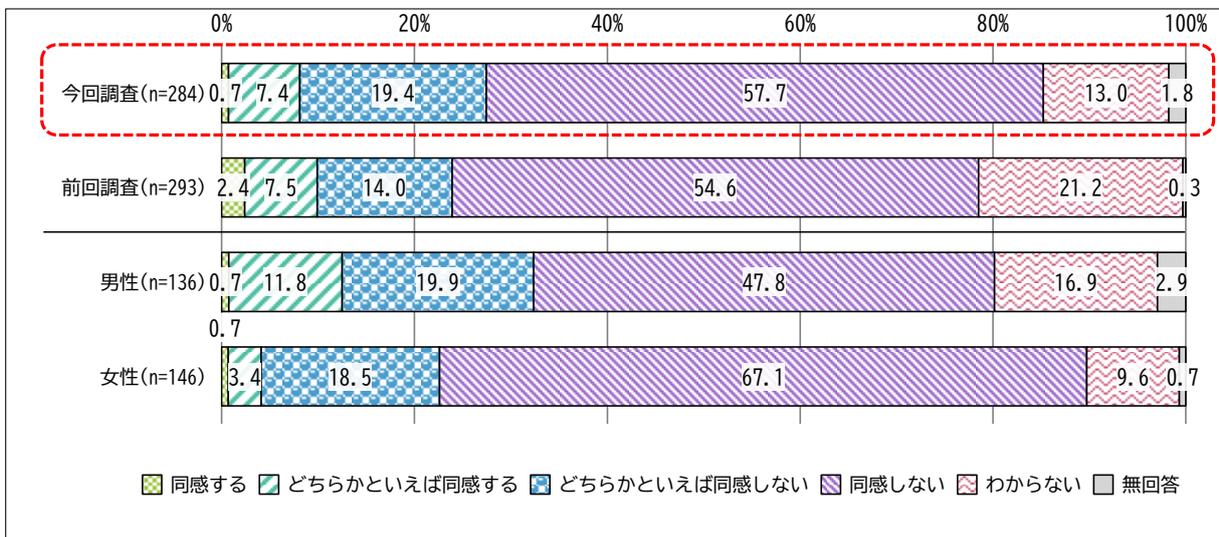
○性別で見ると、男性は女性と比べて、「平等である」が高く、「わからない」が低くなっており、1割程度差が生じています。



問14 あなたは、「男は仕事、女は家庭」などと性別によって役割を固定する考え方について、どう思いますか。(単数回答)

○性別による役割固定の考え方については、「同感しない」が57.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば同感しない」19.4%、「わからない」13.0%となっています。

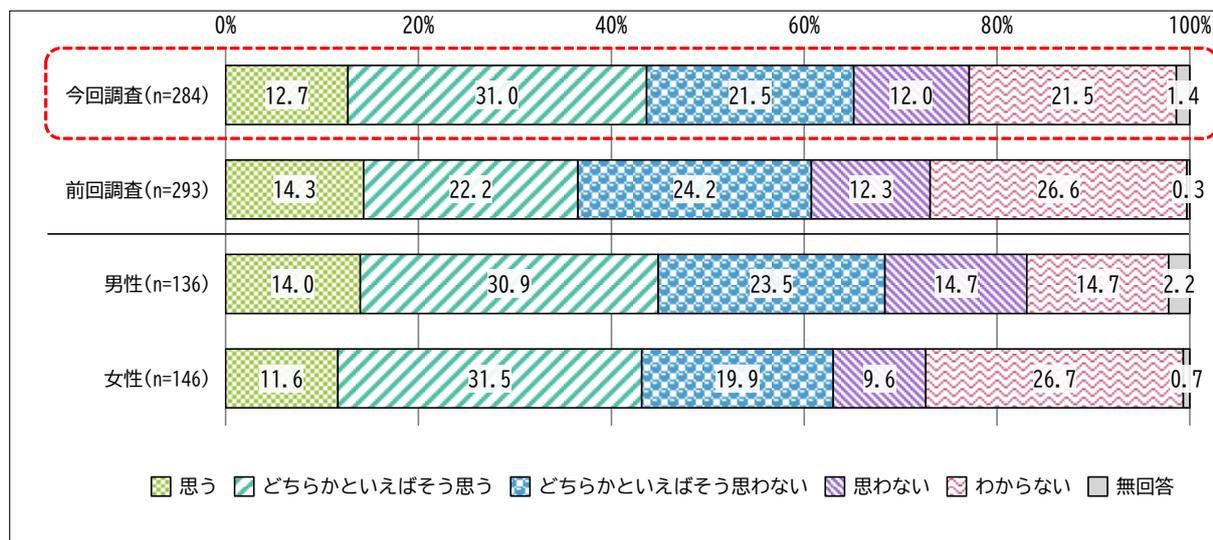
○性別で見ると、女性は男性と比べて『同感しない：どちらかといえば同感しない+同感しない』が17.9ポイント高くなっています。



問15 あなたは、男女が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会が実現されていると思いますか。(単数回答)

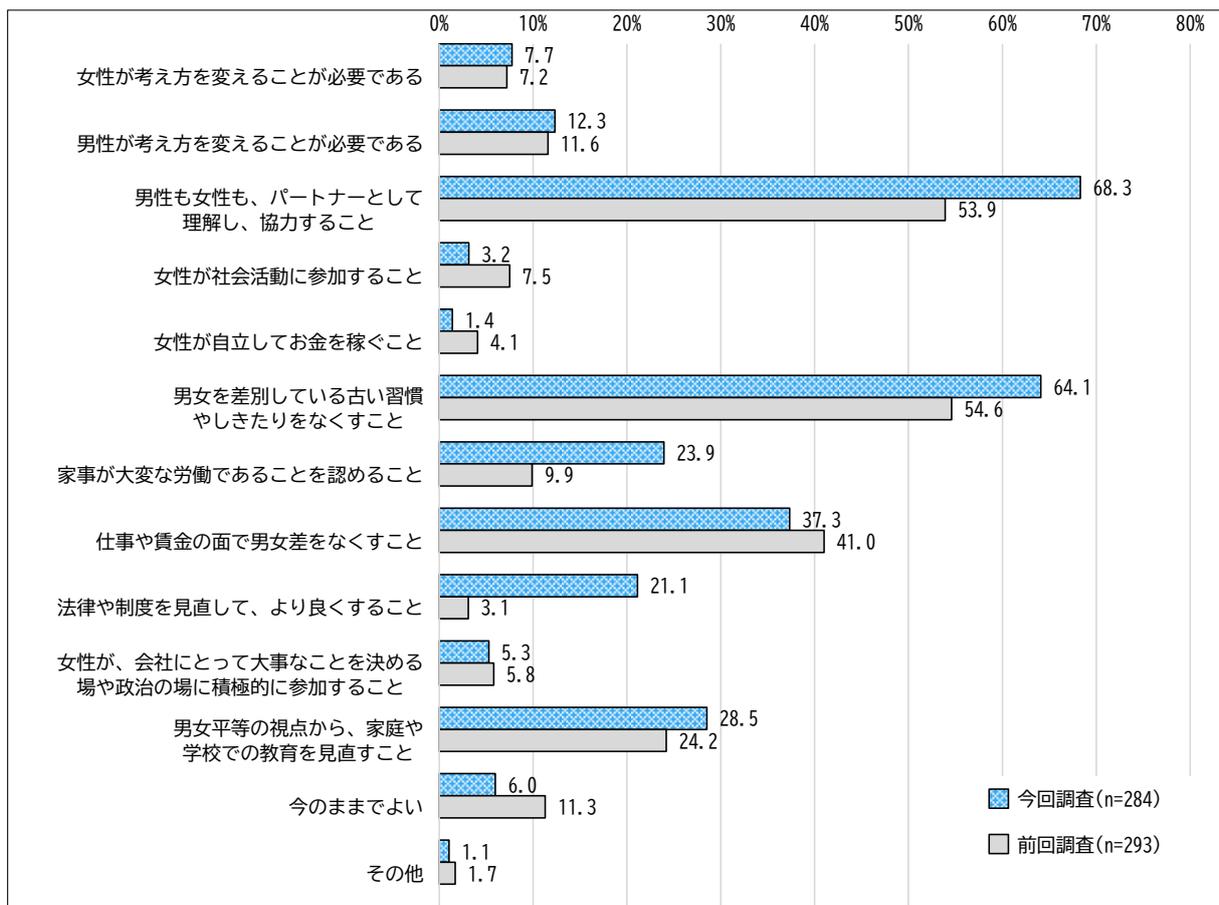
○男女が性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会の実現状況については、「どちらかといえばそう思う」が31.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」「わからない」が同率で21.5%となっています。

○性別でみると、女性は男性と比べて「わからない」が12.0ポイント高くなっています。

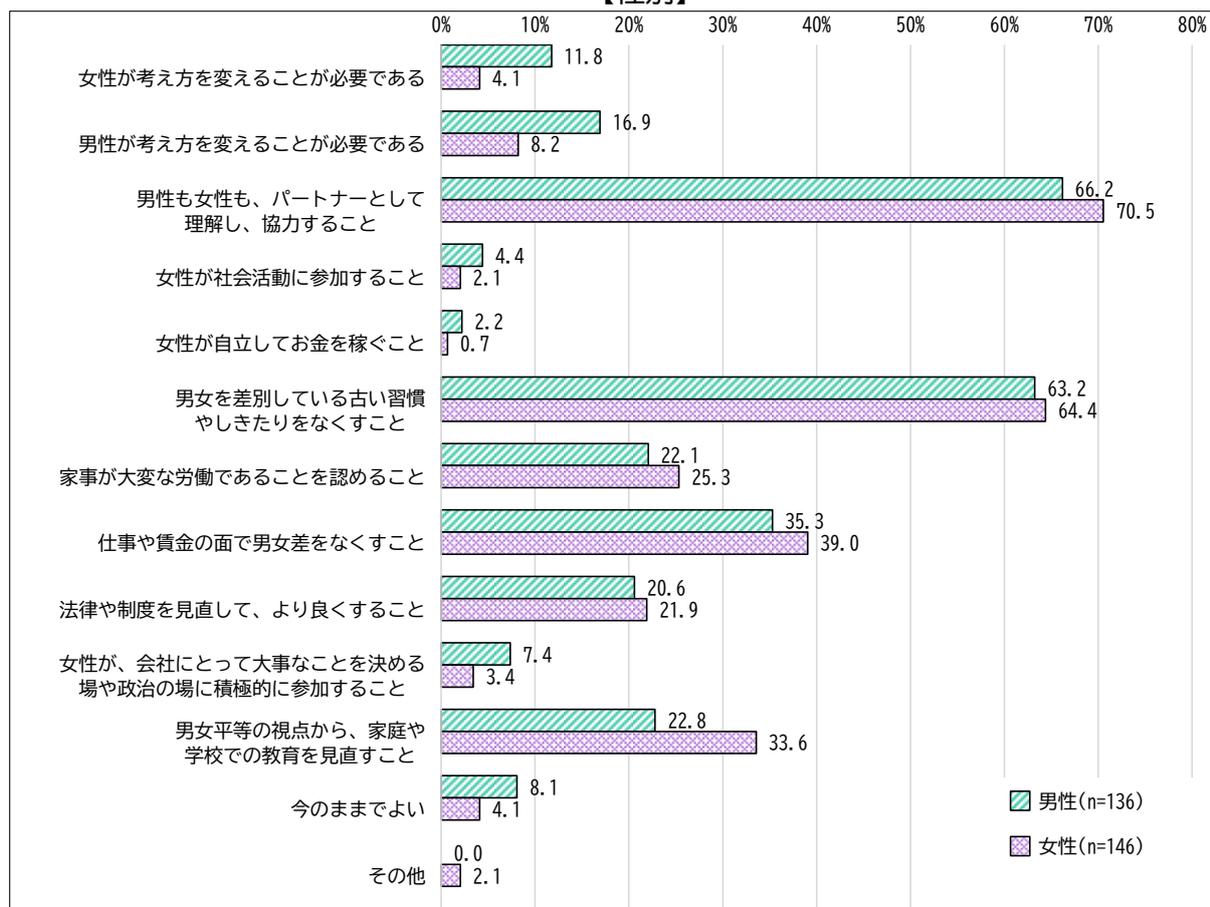


問16 男女が社会のあらゆる分野でより平等になるために、あなたが特に重要だと思うもの（複数回答）

- 男女が社会のあらゆる分野でより平等になるために重要だと思うものについては、「男性も女性も、パートナーとして理解し、協力すること」が68.3%と最も高く、次いで「男女を差別している古い習慣やしきたりをなくすこと」64.1%、「仕事や賃金の面で男女差をなくすこと」37.3%となっています。
- 前回調査と比べると、「男性も女性も、パートナーとして理解し、協力すること」「家事が大変な労働であることを認めること」「法律や制度を見直して、より良くすること」が、いずれも10ポイント以上高くなっています。
- 性別でみると、女性は男性と比べて「男女平等の視点から、家庭や学校での教育を見直すこと」が10.8ポイント高くなっています。



【性別】



■問16「その他」の具体的な意見

性別	その他
女性	男女関係なく、年齢関係なく、互いに理解し合い思いやること
女性	おのおのの家庭を見つめなおすこと
女性	自由にすればいい

問17 男女共同参画についてのご意見、この調査に対するご感想等がありましたら、ご自由にご記入ください。(自由回答)

性別	ご意見・ご感想
男性	自分も生活をあらためようと思った。
男性	男女差別をなくしていきたいです
男性	男女ともに、持久走の距離を同じにするべきです。
男性	楽しかった
女性	今まで考えたことがなかった男女共同参画社会について見直すことができたのでよかったですと思います。
女性	これを機会に何かいい方向に変わってくれるといいなと思います。
女性	男女平等で、性別は関係なく、という考え方になってきているけど、それでもまだ、職業でたとえば保育士だと、保育士になるために必要なことを学ぶところがあるけれど、男性の場合の学ぶところが少ないように思いました。社会のさまざまな面で男女の差がなくなるといいなと思いました。
女性	まだ様々な場面で男・女の格差があるのでもっとよりよい生活になってほしいなと思いました。
女性	無意識に男女差別をしているか気になりました。
女性	男女差別が完全になくなることはないと思うけど、少しでも生きやすい世の中になってほしい。宇土市もパートナーシップ証明書を交付すべきだと思います。
女性	男女差別は完璧にはなくならないと思うけど、少しでも男女差別の考えがなくなるようにいろんな改善が必要だなと思いました。
女性	私もたまに、女子は〇〇〇、男子は〇〇〇などと無意識に言うことがあるので、そこを見直そうと思ったのでがんばります！
女性	今の社会、「平等に」を考え実現させようとしているけど、私は私の中の「平等」がただのきれい事にしかなくなっていきたくないと思う。だから「ただのきれい事」ではなく、もっと「平等に」を広めて、もっと活動していくべきだと思います。多様性が広まったのだから、「平等」という考えも広めて行動していけばいい。
女性	男の人は家事をあまく見ている人が多い。一回男の人にすべての家事をまかせてほしい。会社では男の人が女の人を下に見たりセクハラするところがあると聞いた。男の人は女の人になんでもしていいとかんちがいしている。女の人でも男の人と同じ人間である。
女性	このアンケートを通して、もっと男女関係なく助け合いながら生活していきたいと思っています。

